## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	成年後見制度	利用支援事業	Ę		事業期間	平成	23年度 ~ -	- 年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-3-1	他に関連する 基本事業						所管課係	社会福祉課社会福祉係
目的 (何のために実施するのか)	判断能力が十分で 立の援助、自己決			に成年後見制度	・ の利用を支援するこ	とにより、要	支援者の生活の自	手段 (どのような方法で 実現するのか)	成年後見制度の利力が大成年後見人等に	利用が困難な要支 こ報酬等の全部又	援者本人またはそ は一部助成する。	その親族に申立て登	費用の全部または-	-部を助成する。また、選任され
対象 (誰・何を対象として いるのか)	砂川市に住所を有	する知的障害者	又は精神障害者。	またこれら要支	援者の後見人等。			成果 (どのような効果が 得られるのか)	判断能力が十分で	でない、知的障害 生活の自立の援助	者又は精神障害者 、自己決定の尊重	皆に成年後見制度の 重及び権利の擁護を	O利用が困難な要う E図ることができる	を援者に対し、その費用を支援す る。
事業開始時の状況 緯	!・これまでの経	砂川市成年後見	制度利用支援事業	実施要綱(平成2	2年訓令第9号)に	基づき平成2:	3 年度より事業開始	à。平成24年4月	1日より障害者自	· ]立支援法第77彡	条第1項の2地域	生活支援事業の必	須事業とされた。	

## [DO]

#### 実績

				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国 費	計画額	417, 000	417, 000	417, 000	1, 251, 000	417, 000	417, 000	417, 000		417, 000	417, 000	417, 000	417, 000	1, 668, 000	4, 170, 000
		予算計上額	417, 000	417, 000	417, 000	1, 251, 000	417, 000	417, 000		834, 000					0	2, 085, 000
		実績額	34, 934	65, 419	64, 429	164, 782	67, 612			67, 612					0	232, 394
	道費	計画額	208, 000	208, 000	208, 000	624, 000	208, 000	208, 000	208, 000	624, 000	208, 000	208, 000	208, 000	208, 000	832, 000	2, 080, 000
		予算計上額	208, 000	208, 000	208, 000	624, 000	208, 000	208, 000		416, 000					0	1, 040, 000
		実績額	32, 534	61, 675	54, 956	149, 165	57, 684			57, 684					0	206, 849
	地 方 債	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	その他	計画額				0				0					0	0
t	L	予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
れ	一般財源	計画額	209, 000	209, 000	209, 000	627, 000	209, 000	200,000	209, 000		209, 000	209, 000	209, 000	209, 000	836, 000	2, 090, 000
<i>t</i> =	L	予算計上額	209, 000	209, 000	209, 000	627, 000	209, 000	209, 000		418, 000					0	1, 045, 000
/~		実 績 額	92, 532	172, 906	166, 115	431, 553	154, 704			154, 704					0	586, 257
事	事業費合計	計画額	834, 000	834, 000	834, 000	2, 502, 000	834, 000	834, 000	834, 000	2, 502, 000	834, 000	834, 000	834, 000	834, 000	3, 336, 000	8, 340, 000
	L	予算計上額	834, 000	834, 000	834, 000	2, 502, 000	834, 000	834, 000	0	1, 668, 000	0	0	0	0	0	4, 170, 000
美		実 績 額	160, 000	300, 000	285, 500	745, 500		0	0	280, 000	0	0	0	0	0	1, 025, 500
費の推	事業費予算の 内容		手数料(申立て費 用)71千円	申立て費用81千円 通信運搬費(申立 て費用)10千円 手数料(申立て費 用)71千円	申立て費用81千円 通信運搬費(申立 て費用)10千円 手数料(申立て費 用)71千円		通信運搬費(申立 て費用)10千円 手数料(申立て費	申立て費用81千円 通信運搬費(申立 て費用)10千円 手数料(申立て費 用)71千円								
移	前年度予算と の比較 (増減理由)				前年度同額		前年度同額	前年度同額								
	実績との比較 (増減理由)		の予算に対し、	の予算に対し、	報酬補助2名が の予算に対し、 2名の申請。		報酬補助2名ガ の予算に対し、 2名の申請。									

Ħ	種の	推移	・評価														
扫	動指	標 1	(「手段」をもとに設定)	指標名:成年後	見制度利用助成額		指標の求め方:原	<b>战年後見制度利用</b>	助成額								
月	(果指	標 1	(「成果」をもとに設定)	指標名:成年後	見制度利用件数		指標の求め方:原	<b>战年後見制度利用</b>	件数								
					第1次実施	53カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4力年計	十画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第 5 年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
		指	活動指標 1 計画( ) 計画( ) 計画(			834 286	-	1, 170 280	.,	1, 170	0	1, 425	1, 425	1, 425	1, 425		
		標	成果指標 1 計画(	直 2	2 2	2		3	3	3	В	4	4	4	4		
	L		(単位/件) 実績(	<b>直</b>	1 2	. 2		2									
			事業の達成度 (活動指標をもとに評価	)			ほぼ達成されている										
			事業の成果 (成果指標をもとに評価	)			少し上がっている										
			事業の効率性 (事業費に対する成果)				少し上がっている										
			総合評価				良好である										
	務	評価内容	理由または指	年後一年では、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	度が見一た町生必り今生れ皿て要は が見一た町生必り今生れ皿で表す。村活須、後をにはおないので要す。 も見ずにことの は がりのは がった できまた 利定すにことが できまた 利定すにことがら、 は がら、 は 発 に けんかん からい は 発 こけしがら、 は から、 は は は から、 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	度が見一た町生必り今生れ皿で要はあ人部。村活須、後をにはお外部。村市須、後をにはおない事で展示する用といる用とがいる事でも見かられている用とがられている用とがられている。 しょう はんしゅん はんしん はんし	見制度の利用を	度が見一た町生必り今生れ皿で要事度が見一た町生必り今生れ皿で要率の人部。村活須、後をにはおなこの制成事行援業と利定すにこと継続するこのを持続を表す。またり、一般を表している。との、一般を表している。との、一般を表している。との、一般を表している。との、一般を表している。との、一般を表している。というには、それは、一般を表している。というには、それは、一般を表している。というには、それは、それは、それは、それは、それは、それは、それは、それは、それは、それ	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
			今後の方向性				現状のまま継続										
	5	<b>一</b> 向性 文善、	生の判断理由 改革の内容 R8、R10)	おいて自立した 利用促進法の施 年後見制度の利 生活支援事業考 続は必要と考え 支援センター委	■度は、 はは、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に	必要な制度であり 増加が想定される 障害者総合るこ とない、社会福祉 社課、社会の関係機 とないなのでは、	、成年後見制度 の。本事業は、成 後法に基づく地域 がら、事業の継 品議会(成年後見	R8 :				R10 :					

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	自発的活動支	援事業			事業期間	平成	26年度 ~ -	- 年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-3-1	他に関連する 基本事業						所管課係	社会福祉課社会福祉係
目的 (何のために実施するのか)	地域において、陸安心して暮らする	章害者等及び障害 ことのできる地域	者等の家族並びに 社会の実現を図る。	地域住民等が行	- う自発的活動の支援	そ行うことに	より、障害者等が	手段 (どのような方法で 実現するのか)	地域において障 を交付し、支援		等の家族並びに地	ὑ域住民等が行う▮	自発的な活動に対	して、自発的活動支援事業補助金
対象 (誰・何を対象として いるのか)	障害者等やその家	家族による団体及	び地域団体等で、	市内に拠点を置り	いて活動する団体。			成果 (どのような効果が 得られるのか)	障害を持つ方が	、日常生活または	社会生活を営む上	こで生じる「社会的	<b>勺障壁」を除去し、</b>	. 共生社会の実現が図られる。
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	障害者総合支援法	去において平成25年	F度より市町村 <i>0</i>	)必須事業として追	加された事業	であり、本市では該	<b>を当団体への補助金</b>	交付事業を実施	することとし、平	成26年度に「砂川	市自発的活動支持	爰事業補助金交付9	要綱」を制定。

## [DO]

実績

					第 1 次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	費	計画額	25, 000	25, 000		75, 000	25, 000	,	50, 000	125, 000	50, 000	50, 000	50, 000	50, 000	200, 000	400, 000
			予算計上額	25, 000	25, 000	25, 000	75, 000	25, 000			50, 000					0	125, 000
			実績額	7, 642	0	11, 283	18, 925	12, 074			12, 074					0	30, 999
	道	費	計画額	12, 000	12, 000	12, 000	36, 000	12, 000	,,	25, 000	62, 000	25, 000	25, 000	25, 000	25, 000	100, 000	198, 000
			予算計上額	12, 000	12, 000	12, 000	36, 000	12, 000	,		24, 000					0	60, 000
			実績額	7, 117	0	9, 624	16, 741	10, 301			10, 301					0	27, 042
	地	方 債					0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
入	そ	の他	計画額				0				0					0	0
≥ ×			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
れ	_	般 財源	計画額	13, 000	13, 000	13, 000	39, 000	13, 000	,	25, 000	63, 000	25, 000	25, 000	25, 000	25, 000	100, 000	202, 000
4			予算計上額	13, 000	13, 000	13, 000	39, 000	13, 000	,		26, 000					0	65, 000
た			実 績 額	20, 241	0	29, 093	49, 334	27, 625			27, 625					0	76, 959
事	事	業費合計	計画額	50, 000	50, 000	50, 000	150, 000	50, 000	100, 000	100, 000	250, 000	100, 000	100, 000	100, 000	100, 000	400, 000	800, 000
			予算計上額	50, 000	50, 000	50, 000	150, 000	50, 000	50, 000	0	100, 000	0	0	0	0	0	250, 000
業			実 績 額	35, 000	0	50, 000	85, 000	50, 000	0	0	50, 000	0	0	0	0	0	135, 000
費の推	事美	業費予算の 内容			補助対象団体 1団体×50,000 円	補助対象団体 1団体×50,000 円			補助対象団体 1団体×50,000 円								
移		手度予算と の比較 曽減理由)		前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額	前年度同額								
		責との比較 曽減理由)		新型コロナウイ ルス感染症によ り補助対象団体 の活動が制限さ れたため。	ルス感染症によ り補助対象団体	予算同額		予算同額									

	旨標の 打	移・計	平価														
1	舌動指標	₹1 (「	手段」をもとに設定)	指標名:補助金	額		指標の求め方: 🏻	章害者等団体に支	払った額								
	<b></b> 成果指標	₹1 (「	成果」をもとに設定)	指標名:補助団·	体数		指標の求め方:1	年間に補助をした	た団体数								
					第 1 次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年記	計画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年 合 計	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年 合 計	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年 合 計	総合計画合計
H		汗雨	助指標 1 計画値	(3年度) 50	(4年度) 50	(5年度)		(6年度)	(7年度)	(8年度)		(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)		п
	排	/ 22	位 (千円) 実績値	35		50		50				100		100	100		
	村	10人	指標 1 計画値	1	1 1	1		2	2	2		2	2	2	2		
	$\vdash$		<sup>1位/団体)</sup> 実績値 ぎの達成度	1	1 0	1		]									
			動指標をもとに評価)				達成されている										
			の成果 果指標をもとに評価)				上がっていない										
			* 11保をもとに計画/ 美の効率性														
			業費に対する成果)				上がっていない										
		総合	\$評価 				問題がある						. =	. = 0.12			
	事務事業評価	6 9	理由または指標	口染りのれ金(回た等地る自みと等常生が会りのれ金(回た等地る自みと等常生が会方の助動がめ予値無、全住域的支、自活を来りるいたが重活にのまり、自活を本院をは、といるでは、といるでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	度ウの助動たが値果障の民にな援障立及営る現ま、中では、大変を、大変を、大変を、大変を、大変を、大変を、大変を、大変を、大変を、大変を	コ感よ体さ和該か年いらとててしを障家等おけつ染りのれ3事っ、者が等任い、行が旅におけた年業市市や交を意る1つい、よる自共の動動と腹様、でのすり活体のい、域地発的人態対がめ以積、でのすり活体のい、域地発的、降が昨障家ると動に助るそ性域発のでは、大きないでは、からといい、域地発のでは、大きないのでは、まないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、まないのでは、大きないのでは、ためいではないでは、ためいではないが、ためいでは、ためいでは、ためいではないでは、ままないのでは、ためいではないが、ためいではないではないが、ためいではないが、ためいではないではないが、ためいではないが、ためいではないが、ためいではないが、ためいではないが、ためいではないが、ためいではないが、ためいではないがではないが、ためいではないがではないがではないがではないがではないがではないがではないがではない	の発団限伴補数値るま度令補たてに状る「影的体さい助がを状たに元和助1もよ態こ間響活のれ、額と下況、つ4を行会りとと題と下況、つ4を行体員活なかがとへ助計でる5はまてつ減休で、らの計でる5はまででは、かいかしい。年、でいい少止い、る自う制にの件画い。年、でいい少止い、るり	障の民にな援障立及営る現でが家族にけりるいる。よる自みと等常なすがしびむ土生のでは、はの組こ者日会とさるといる。は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後	その方向性				現状のまま継続										
					障がい者等とその U組みた支援する			R8 :				R10 :					
	改		判断理由 革の内容 . R10)	常生活及び社会いる。また、障	り組みを支援すると 生活を営むことが 生害者総合する まるなっているこ	出来る共生社会の基づく地域生活支	)実現に寄与して 援事業において										

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	移動支援事業	ţ			事業期間	平成	18年度 ~ -	— 年度	
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-3-1	他に関連する 基本事業		所管課係 社会福祉課社会福祉係
目的 (何のために実施するのか)	障害者(児) の社	会生活上必要不可	可欠な外出及び余暇	活動等の社会参	・ 加のため外出の移動	動を支援する。			屋外での移動に困難がある障害者(児)の外出支援を行う。利用者負担はサービス費用の1割で月額負担上限額については、自立支援法による介護給付サービスに準ずる。サービスを提供した事業所に対しては、費用の基準額から負担額を差し引いた額を委託料として支払う。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	外出時に支援が劇	必要な障害者(児)	o					成果 (どのような効果が 得られるのか)	が 屋外での移動が困難な障害者(児) について、外出支援を行うことにより、地域での自立生活及び社会参加を促す。
事業開始時の状況緯	・これまでの経	平成18年10月より	り施行された障害者	背自立支援法にお	らいて市町村の必須	事業として位記	置付けられたこと	から、砂川市障害者	害者地域生活支援事業実施規則(平成18年10月31日規則第51号)を制定し、事業を開始した。

## [DO]

実績

					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	費	計画額	215, 000	215, 000	215, 000	645, 000	137, 000	137, 000	137, 000	411, 000	137, 000	137, 000	137, 000	137, 000	548, 000	1, 604, 000
			予算計上額	215, 000	160, 000	205, 000	580, 000	137, 000	137, 000		274, 000					0	854, 000
			実績額	10, 363	39, 662	22, 516	72, 541	26, 921			26, 921					0	99, 462
	道	費	計画額	107, 000	107, 000	107, 000	321, 000	68, 000	00,000	68, 000	204, 000	68, 000	68, 000	68, 000	68, 000	272, 000	797, 000
			予算計上額	107, 000	79, 000	86, 000	272, 000	68, 000	68, 000		136, 000					0	408, 000
			実績額	13, 451	40, 168	19, 207	72, 826	22, 967			22, 967					0	95, 793
	地	方 債	計画額				0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
入	そ	の他	計画額				0				0					0	0
<b>₹</b>			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
れ	— 般	段 財 源	計画額	108, 000	108, 000	108, 000	324, 000	69, 000	,	69, 000	207, 000	69, 000	69, 000	69, 000	69, 000	276, 000	807, 000
+-			予算計上額	108, 000	82, 000	53, 000	243, 000	69, 000	,		105, 000					0	348, 000
た			実績額	42, 336	115, 554	96, 474	254, 364	61, 592			61, 592					0	315, 956
事	事業	費合計	計画額	430, 000	430, 000	430, 000	1, 290, 000	274, 000	274, 000	274, 000	822, 000	274, 000	274, 000	274, 000	274, 000	1, 096, 000	3, 208, 000
			予算計上額	430, 000	321, 000	344, 000	1, 095, 000	274, 000	241, 000	0	515, 000	0	0	0	0	0	1, 610, 000
業			実績額	66, 150	195, 384	138, 197	399, 731		0	0	111, 480	0	0	0	0	0	511, 211
費の推		費予算の 内容		知的 346,000円 児童 84,000円	知的 255,000円 児童 66,000円	知的 278,000円 児童 66,000円		知的 208,000円 児童 66,000円	知的 175,000円 児童 66,000円								
移	の	度予算と )比較 減理由)		扶助対象者数の 減	扶助対象者数の 減	扶助対象者数の 増		扶助対象者の減	扶助対象者の減								
		との比較 減理由)		利用者数の減		利用者数は前年 と変わらない が、利用回数の 減		利用者数の減									

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名:年間委託料	指標の求め方:1年間の事業所への委託料(サービス費用基準額-利用者負担額)
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名:年間利用者人数	指標の求め方:1年間にサービスを利用した実人数

					第 1 次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年記	十画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
		活動指標 1	計画値	(3年度) 430	(4年度) 430	(5年度) 430	合 計	(6年度) 430	(7年度) 430	(8年度) 430	合 計	(9年度) 430	(10年度) 430	(11年度) 430	(12年度) 430	合 計	
	指	活動指標 「 (単位/千円)		67	196	139	L	112	430	400		450	430	400	430		
	標	成果指標 1	計画値	12	12	12		12	12	12		12	121	12	12		
		(単位/人)	実績値	3	4	4		2									
		事業の達成度 (活動指標を	: もとに評価)				達成されていない										
		事業の成果 (成果指標を	もとに評価)				あまり上がってい ない										
		事業の効率性					あまり上がってい ない										
		総合評価					普通である										
事務事業評価	評価内容	総合由	評価の判断標 では指 関す が が	は用や活た本口染り状が出い会めに開や活た本口染り状が出い合物では、発見しています。 一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、生命型でもしった。 では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	は用や活た本口染り状が出い会めに用や活た本口染り状が出い会がまります。	は用や活た今祉用え多前と結構が活た今祉用える前と結構ができませい。の、等目もはご時利たに指下際質、的あ障スではおいて度動はに指すに指する。とは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	判指と下の定は、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ほとんどの場合は通院の際の利用だが、買い物や旅行等、余暇活動を目的とし	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向性					現状のまま継続										
	今後の方向性 今後の方向性 方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)				tない事業であり いては市町村必	、障害者総合支援	等の社会参加促 法に基づく地域	R8 :				R10 :					

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	日中一時支援	事業			事業期間	平成	18年度 ~ -	- 年度					•	<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-3-1	他に関連する 基本事業						所管課係	社会福祉課社会福祉係
目的 (何のために実施するのか)	障害者(児) の日	中活動の場を確保	<b>呆し、その家族の</b> 就	労支援や一時的	-  な休息を与えるこ	とを目的とする	<b>ა</b> .	手段 (どのような方法で 実現するのか)	担上限について	業所において一時 は、総合支援法に 差し引いた額を委	よる介護給付サー	-ビスに準ずる。 サ	する。利用者負担 ナービスを提供した	日はサービス費用の1割で、月額負 た事業所に対しては、費用の基準
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市民が日中、常に	監視や介護を必	要な障害者(児) で	、障害者総合支	援法に基づく「障:	害支援区分1.	」以上の者。	成果 (どのような効果が 得られるのか)	障害者(児)のE る。	日中一時的な活動を	をする場が確保され	れるとともに、そ	の家族の就労支援	そや一時的な休息の場が得られてい
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	平成18年10月より	り施行された障害者	背自立支援法にお	いて市町村の任意	事業として位	置付けられたことか	いら、砂川市障害者	地域生活支援事業	業実施規則(平成)	8年10月31日規則	第51号)を制定し	.、事業を開始し <i>†</i>	Έ.

## [DO]

実績

				第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国 費	計画額	217, 000	217, 000	217, 000	651, 000	156, 000	156, 000	156, 000		156, 000	156, 000	156, 000	156, 000	624, 000	1, 743, 000
		予算計上額	217, 000	290, 000	360, 000	867, 000	156, 000	156, 000		312, 000					0	1, 179, 000
		実績額	74, 996	77, 369	32, 151	184, 516	16, 889			16, 889					0	201, 405
	道費	計画額	108, 000	108, 000	108, 000	324, 000	78, 000	78, 000	78, 000	234, 000	78, 000	78, 000	78, 000	78, 000	312, 000	870, 000
		予算計上額	108, 000	145, 000	180, 000	433, 000	77, 000	78, 000		155, 000					0	588, 000
		実績額	77, 149	80, 036	27, 422	184, 607	14, 411			14, 411					0	199, 018
	地 方 債	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
入	そ の 他	計画額				0				0					0	0
<b>₹</b>		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
れ	一般財源	計画額	109, 000	109, 000	109, 000	327, 000	79, 000	79, 000	79, 000	237, 000	79, 000	79, 000	79, 000	79, 000	316, 000	880, 000
_		予算計上額	109, 000	146, 000	180, 000	435, 000	80, 000	62, 000		142, 000					0	577, 000
た		実 績 額	227, 265	231, 905	82, 887	542, 057	38, 650			38, 650					0	580, 707
事	事業費合計	計画額	434, 000	434, 000	434, 000	1, 302, 000	313, 000	313, 000	313, 000	939, 000	313, 000	313, 000	313, 000	313, 000	1, 252, 000	3, 493, 000
		予算計上額	434, 000	581, 000	720, 000	1, 735, 000	313, 000	296, 000	0	609, 000	0	0	0	0	0	2, 344, 000
業		実 績 額	379, 410	389, 310	142, 460	911, 180	69, 950	0	0	69, 950	0	0	0	0	0	981, 130
費の推	事業費予算の 内容		知的 376,000円 児童 58,000円				知的 267,000円 児童 46,000円	知的 250,000円 児童 46,000円								
移	前年度予算と の比較 (増減理由)		扶助対象者数の 減	扶助対象者数の 増	扶助対象者数の 増		扶助対象者数の 減	扶助対象者数の 減								
	実績との比較 (増減理由)		利用者数の減	利用者数の減	利用者数の減		利用者数の減									

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名:年間委託料	指標の求め方:1年間の事業所への委託料(サービス費用基準額-利用者負担額)
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:年間利用者人数	指標の求め方:1年間にサービスを利用した実人数

						第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			笙	3次実施4力年記	十画		<b>答っせ</b>
				ŀ	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指標		計画値	434	434	434		434	434	434		434	434	434	434		
	指	(単位/₹	i	実績値	380	390	143		70									
	標	成果指標		計画値	12	12	12		12	12	12		12	12	12	12		
		(単位/)		実績値	6	6	4		3									
		事業の達 (活動指標		に評価)				あまり達成されていない										
		事業の成 (成果指標	注果 漂をもと!	に評価)				上がっていない										
		事業の効(事業費)		成果)				あまり上がってい ない										
		総合評価						普通である										
事務事業評価	評価内容		総 合語 評価 た 値 かっこう おまま きょう かいまい まま きょう かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいま	亜の判断標とは には関す ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	障日時がとの休活る年減り型スもが害後のに、明るのる家及しい、数あはイ影るのた足規斯所がいいな保、労のさ、利傾本口染え一・長場ない、数あはイ影るの放み確で、特別なの援とて、人に度ウのれ数の休の一場こ族びて は 新ル響 障誤時保いの一場こ族がで は 新ル響 障誤時保いの一場にない。	日時がとの休活る年減り型スもが害後の中的確で就息の古、利慎本口を見いています。 利候本口を見いているのはの様とて 人に度つの私数の休のおり、 知時本に見いているの放み権を見いている。 は、新ル響 障課時保 一場こ族びて は、新ル響 障課時保	日時がとの 体語 も は ま活さ で 、 労の で に で 、 労の で で 、 が の の の の の の の の の の の の の		障日時がとの休活 おけいにないでは、 はいにないでは、 はいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっと。 もっと	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方	<b></b>					現状のまま継続										
	方向惊改善、	生の判断理 、改革の 、 R8、 R10	里由 内容		場所の確保及び家 支援法に基づく地	家族のレスパイト 地域生活支援事業	ものの、日中におなどに寄与しておりの市町村任意事業の継続が必要と考	ける一時的な居 り、障害者総合 として位置付け	R8 :				R10 :					

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	重度身体障害	者ハイヤー料	全助成事業		事業期間	平成	6年度 ~ -	- 年度						<u>'                                     </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-3-1	他に関連する 基本事業						所管課係	社会福祉課社会福祉係
目的 (何のために実施するのか)	重度身体障害者( ることを目的とす	児)の生活圏拡大 <sup>↑</sup> る。	大を容易にするため	、ハイヤー料金	- の一部を助成し、	社会参加の促進	<b>進、福祉の増進を図</b>	手段 (どのような方法で 実現するのか)	対象者には、1回 10月以降は年間1		チケット(市内に	営業所を有するハ	イヤー会社のみ有	効)を年間22枚交付する。但し、
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市民で、身体障害記述がある者。	『者1・2級の下』	肢・体幹・移動機能	能・視覚障害者)	又は身体障害者1級	の内部障害者で	ぎあって歩行困難の	成果 (どのような効果が 得られるのか)	対象者の通院等、	, 移動手段として	大きく貢献してい	าる。		
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	平成13年度より、 平成16年度の行動	・療育手帳1級所持 革により平成17年度	音者及び身障手帳 とからは年間24枚	長1級(内部障害者) 女の交付を22枚とし	所持者(歩行 た。(10月 1 E	困難の記述がある。 日以降の交付は12材	ものは該当)につい を11枚。)	いては対象者から	除外したため、申	≣請者の数が減っ <i>†</i>	٠.		

## [DO]

実績

					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	地	方 債	計画額				0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
入	そ	の他	計画額				0				0					0	0
<b>≥</b>			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
れ	- #	投 財 源	計画額	302, 000	309, 000	316, 000	,	385, 000	,	409, 000		421, 000	433, 000	445, 000	457, 000	1, 756, 000	3, 874, 000
+-			予算計上額	302, 000	302, 000		1, 020, 000	385, 000	314, 000		699, 000					0	1, 719, 000
た			実 績 額	250, 390	245, 490	,	795, 110	201, 960			201, 960					0	997, 070
事	事 業	費合計		302, 000	309, 000	316, 000	927, 000	385, 000	397, 000	409, 000	1, 191, 000	421, 000	433, 000	445, 000	457, 000	1, 756, 000	3, 874, 000
			予算計上額	302, 000	302, 000	416, 000	1, 020, 000	385, 000	314, 000	0	699, 000	0	0	0	0	0	1, 719, 000
業			実 績 額	250, 390		299, 230	795, 110	201, 960	0	0	201, 960	0	0	0	0	0	997, 070
費				交付予定枚数 880枚(a)	交付予定枚数 880枚(a)	交付予定枚数 1,210枚(a)		交付予定枚数 1, 188枚(a)	交付予定枚数 968枚(a)								
		費予算の			使用率70%(b)	使用率70%(b)		使用率60%(b)	使用率60%(b)								
の		内容		$a \times b \times @490$	$a \times b \times @490$	$a \times b \times @490$		a × b × @540	$a \times b \times @540$								
推				=301,840円	=301, 840円	=415, 030円		=384, 912円	=313, 632円								
711	$\vdash$			交付対象者数の	前年度同類	交付対象者数の		交付対象者数の	交付対象者数の								
移	前在	度予算と		減	一人文 147 田代	増		減	減								
	B) +	り比較															
		減理由)															
				交付者数の減	交付者数の減	交付者数の減		交付者数の減									
	実績	との比較															
	(増	減理由)															
					ı			l .									

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:ハイヤーチケット交付件数	指標の求め方:ハイヤーチケット交付件数
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:ハイヤーチケットの交付率	指標の求め方:ハイヤーチケットの交付率

					第 1 次実施	3カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年記	十画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次(6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次(9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
		活動指標 1		40	41	(0十 <u>)</u> 42	1	43	44	(0平及) 45		46	(10年 <i>)</i> 3	48			
	指標	(単位/件)	八根區	36		50		36									
	伝	成果指標 1 (単位/%)		33 34, 6	34 47. 7	36 48. 5	<b>4</b>	37 42. 3	39	40		42	. 44	46	48		
		事業の達成	度	34. 0	47.7	40. 0	達成されている	12. 0									
		事業の成果					上がっている										
		事業の効率					上がっている										
		(事業費に対 総合評価	対する成果)				良好である										
事務事業評価	評価内容		合評価の判断 由または指標 実績値に関す 自己分析	体めでく的年懸付てコ感考象少で乗成や象生とき障、き、高齢含者い口柴え者なあ車で買者活し重等損な更齢的さ数るナ症らにいるのあいがをて要者繁いに者なればがウのれと移ハたり物安送、ならはいるのなが、イデるのである。少新ル響。て手ヤの通、し一き楽しかは、ないでは、かいでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	体めでく的年懸付てコ感考象少で乗成や象生とき障、き、高齢含者い口柴え者なあ車で買者活し重等損な更齢的さ数るナ症らにいるのあいがを送、なき損な更齢的さ数るナ症らにいるのあいがを送、ない、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、い	体めでく的年懸付てコ感考象少で乗成や象生と瞭、き、高齢含者い口染え者なあ車で買者活し青額な更齢的さ数るナ症らにいるのあいがをでいれと移ったり物安送、香繁いに者なれはがウのれと移ったり物安送、引いているがある。少新ル響。て手ヤの通、しーきたりがある。少新のでいるというできない。	判件もりにののて標も回でらるたりとお度件%っ指と上況 ありに、つ交でなり、にののので標も回でられて、率、果画いこ良判では、と活指値を状かでしまれるとが断げるとと所指であります。	対象にはがきるいいでする。		自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		会後の方向	*#±				現状のまま継続										
		今後の方向	II.	R5:本事業は、対	対象者の移動手段	を確保することに		R8 :				R10 :					
	改善、	生の判断理は . 改革の内容 . R8、R10)	<b>a</b>	の促進を図るとと	ともに、経済的な て実施しており、 界においては運転 りため、運賃は増 さ老齢年金である	理由による外出控 交付件数も増加傾 者不足対策による 加傾向であるが、	?えを減少させる !向にある。ま 人件費の確保・ 一方で対象者の										

## [PLAN]

## 事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	コミュニケー	・ション支援事	業		事業期間	平成	18年度 ~ -	- 年度	]			•	•	<u>'</u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-3-1	他に関連する 基本事業						所管課係	社会福祉課社会福祉係
目的 (何のために実施するのか)	意思疎通を図るる書者とその他の記	ことに支障がある。 皆の意思疎通を仲	聴覚障害者及び言 介する手話通訳者	語機能障害者に 等の派遣を行い	- 手話通訳等の方法に 意思疎通の円滑化 <i>を</i>	より聴覚障害: 図ることを目的	者及び言語機能障 的とする。	手段 (どのような方法で 実現するのか)	申請書を提出する	る。派遣対象地域	は道内とする。			D7日前までに手話通訳者等派遣 うあ連盟に委託料として支払う。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	聴覚障害及び言語	吾機能障害のため	、意思疎通を図る	ことに支障があ	る障害者。			成果 (どのような効果が 得られるのか)	手話通訳者を派え	貴することで、聴	覚障害者及び言語	機能障害者に地域	或での自立生活及で	<b>が社会参加を促す</b> 。
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	平成18年10月より 平成24年4月1日	り施行された障害ネ から北海道内でのハ	<b>皆自立支援法に</b> お 広域的な派遣体制	Sいて市町村の必須 Jが確保され、市外	事業として位置 での利用や公却	置付けられたことだ 性性の高い会議や	いら、砂川市障害者 肝修などでも、手記	f地域生活支援事業 5通訳者の派遣がす	業実施規則(平成 可能となった。	18年10月31日規則	第51号)を制定し	ノ、事業を開始し <i>†</i>	<u> </u>

## [DO]

実績

					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3 次実施4カ年計	画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	費	計画額	25, 000	25, 000		75, 000	25, 000	,	25, 000	75, 000	25, 000	25, 000	25, 000	25, 000	100, 000	250, 000
			予算計上額	25, 000	25, 000		75, 000	25, 000			50, 000					0	125, 000
			実 績 額	8, 782	8, 677		26, 516	9, 628			9, 628					0	36, 144
	道	費	計画額	12, 000	12, 000	12, 000	36, 000	12, 000	,	12, 000	36, 000	12, 000	12, 000	12, 000	12, 000	48, 000	120, 000
			予算計上額	12, 000	12, 000	12, 000	36, 000	12, 000	,		24, 000					0	60, 000
			実 績 額	8, 134	8, 223	7, 700	24, 057	8, 241			8, 241					0	32, 298
	地	方 債					0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
入	そ	の他	計画額				0				0					0	0
さ			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
れ	-	般 財 源	計画額	14, 000			42, 000	14, 000	,	14, 000	,	14, 000	14, 000	14, 000	14, 000	56, 000	140, 000
+.			予算計上額	14, 000	14, 000		42, 000	14, 000	,		35, 000					0	77, 000
た			実績額	23, 084	23, 100		69, 427	22, 131			22, 131					0	91, 558
事	事	業費合計	計画額	51, 000	51, 000	51, 000	153, 000	51, 000	01,000	51, 000	153, 000	51, 000	51, 000	51, 000	51, 000	204, 000	510, 000
			予算計上額	51, 000	51, 000	51, 000	153, 000	51, 000	58, 000	0	109, 000	0	0	0	0	0	262, 000
業			実績額	40, 000	40, 000	40, 000	120, 000	40, 000	0	0	40, 000	0	0	0	0	0	160, 000
費					基本価格 40,000円	基本価格 40,000円			基本価格 47,000円								
	事	業費予算の		実費	実費	実費			実費								
の		内容		11,000円	11,000円	11,000円		11,000円	11,000円								
推																	
移				前年度同額	前年度同額	前年度同額			委託金額の改定								
移		年度予算と							による増額								
		の比較 増減理由)															
				利用者がいな	利用者がいな	利用者がいな		利用者がいな かったため、基									
		績との比較		かったため、基 本価格のみの支	かつににめ、基本価格のみの支	かつににめ、基		かったため、基 本価格のみの支									
	()	増減理由)		出となった。	出となった。	出となった。		出となった。									
				шс в Улс.	шс в Угс.	шс в Улс.		шс и эле.									

5動指標 1	1 (「手段」を	をもとに設定)	指標名:年間委認	托料		指標の求め方:オ	<u>と海道ろうあ連盟</u>	に支払った年間委	託料							
<b></b> 大果指標 1	1 (「成果」を	をもとに設定)	指標名:年間利用	用者数		指標の求め方:1	年間にサービスを	和用した実人数								
				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年記	計画		第 7 其
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年合計	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年合計	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施 4 カ年 合 計	総合計合
	活動指標	1 計画値	(3年度) 51	(4年度) 51	(5年度)	D BI	(6年度) 51	(7年度) 51	(8年度) 51		(9年度) 51	(10年度) 51	(11年度) 51	(12年度) 51		
指	(単位/千		40	40	<b></b>		40	<u></u>					1		-	
標	成果指標		2	2	2		2	2	2	2	2	2	2	2 2		
_	(単位/人 事業の達成	人根框	0	0	0		0									
	(活動指標	をもとに評価)				達成されていない										
	事業の成界 (成果指標	果 『をもとに評価)				上がっていない										
	事業の効率	率性 :対する成果)				上がっていない										
	総合評価					普通である										
事務事業評価内容	理の	総合評価の判断 里由または指標 D実績値に関す 5自己分析	は時がは重の双減医にり心重る用わい間で、要手方さ療は、し要こるらでもる関う象事か有今なをは、してとの音をいます。 ひものれ機不対でなどの手と思わけ。受欠者もずるようにもない。 は、軽には、軽には、大きないが、は、対し、大きないが、は、対し、大きないが、は、対し、大きないが、は、対し、大きないがは、対し、大きないがは、対し、大きないがは、対し、大きないがは、対し、大きないがは、対し、大きないがは、対し、大きないがは、対し、大きないがは、対し、大きないがは、対し、大きないがは、対し、大きないがは、対し、大きないがは、対し、大きないがは、対し、大きないがは、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	は時がは重の双減医にり心重るい時がは重の双減医にり心重る診察で負る関可象暮事いが、乗苦と限のれ機不対てなるとい間でき、要なりの、機不対でなるとでき、できる。というでき、はいいが、は、はいいが、は、はいいのでは、いいのでは、いいので、はいいのでは、はいいので、はいいので、はいいので、はいいので、はいいので、はいいので、はいいので、はいいので、はいいのではいいので	は時がは重の双減医にり心重る用わい意る診意で負金が悪手と思わば、し要こ者らずない意名談意で負名関可象暮事か有今なでき筆談でできないできないできないできないできないできないでは、大いでは、大いでは、大いでは、大いでは、大いでは、大いでは、大いでは、大		本は時がは重の双減医にり心重る年、な時がは重の双減医にり心重る影意で負る関可象暮事がのい意を影意で負る関可象暮事が見る関可象暮事がある。	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
	今後の方向					現状のまま継続										
改善	性の判断理 、改革の内: 、R8、R10)	!由 容	住していることで 用する可能性があ	を確認しており、 ある。本事業は障 て市町村必須事業	今後家族の支援等 害者総合支援法に	:基づく地域生活	R8 :				R10 :					

## 第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

#### [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

(単付:円)

事 業 名	身体障害者用	自動車改造費	即成事業		事業期間	平成	18年度 ~ -	- 年度				•		
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-3-1	他に関連する 基本事業						所管課係	社会福祉課社会福祉係
	身体障害者自らたび就労等の実現を		自動車を改造する	場合に、改造に	要する経費を一部助	か成することで	、自立した生活及	手段 (どのような方法で 実現するのか)		者に、1件当たり1 得金額が、特別障			音に助成する。	
対象 (誰・何を対象として いるのか)					許証を有する者で、 改造する必要がある		、自ら所有し運転		対象者の自立した 得者の障害者が原	た日常生活や就労 取得する励みにな		との確保として、ブ	たきく貢献している	る。また、自動車運転免許証未取
事業開始時の状況緯	・これまでの経	北海道の「障害者 障害者が自立し <i>†</i>	者の明るいくらし」 た日常生活を営むこ	促進事業に係ることができるよう	5補助(補助割合2/ 5地域の特性や利用	(3) 対象の事業  者の状況に応り	きだったものが、平 じた柔軟な事業実が	成18年度の障害者1 匿を目的とした「市	自立支援法施行に 5町村地域生活支援	より、地域生活す 爰事業実施要綱」	を援事業国庫補助 が北海道で策定さ	(補助割合1/2)、 れ、砂川市でもま	道費補助(補助書 発施規則を制定し事	列合1/4)となった。 §業を行っている。

#### [DO]

実績

第1次実施3力年計画 第2次実施3カ年計画 第3次実施4力年計画 第4年次 第1年次 第2年次 第3年次 第5年次 第6年次 実施3カ年 第7年次 第8年次 第9年次 第10年次 総合計画 実施3カ年 実施4カ年 合 計 合 計 (6年度) 合 計 計 (3年度) (4年度) (5年度) (7年度) (8年度) (9年度) (10年度) (11年度) (12年度) 計画額 予算計上額 実 績 額 計画額 予算計上額 実 績 額 方 債 計画額 予算計上額 投 実 績 額 計 画 額 0 予算計上額 さ 実 績 額 一般財源 計画額 200,000 200,000 200, 000 600, 000 100,000 100,000 100,000 300, 000 100,000 100,000 100,000 100,000 400, 00 1, 300, 000 200, 000 100,000 100, 000 予算計上額 200, 000 100,000 500, 00 200, 000 700, 000 実 績 額 100.000 100.00 100,000 100.000 200, 000 計画額 100,000 1, 300, 000 事業費合計 200, 000 200, 000 200, 000 600, 00 100,000 100, 00 300,000 100, 000 100,00 100,00 100,000 400, 00 予算計上額 200, 000 200, 000 100,000 500, 00 100,000 100,000 200, 000 700, 000 実 績 額 100, 000 100, 000 100,000 100,000 200, 000 2件×100,000円 2件×100,000円 1件×100,000円 (限度額) (限度額) 1件×100,000円 1件×100,000円 費 (限度額) (限度額) 事業費予算の の 内容 推 前年度同額 前年度同額 過年度実績から 前年度同額 前年度同額 予算額を減額 前年度予算と の比較 (増減理由) 予算額2件に対 予算額2件に対 予算額1件に対 予算額1件に対 し1件の助成 し申請なし し申請なし し1件の助成 実績との比較 (増減理由)

#### 指標の推移・評価

標の推	多・評価															
動指標	1 (「手段」	をもとに設定)	指標名:年間助成	<b>戈額</b>		指標の求め方:	1 年間の自動車改	造助成額								
某指標 1	1 (「成果」	をもとに設定)	指標名:年間利用	月者件数		指標の求め方:	1 年間に自動車改	造費助成を利用し	た件数							
				第1次実施	13カ年計画			第2次実施	[3カ年計画			第	3次実施4カ年計	一		第 7 其
			第1年次(3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計算合言
指	活動指標 (単位/		200 100	200 0	200		200 100		200		200	200	200	200		
標	成果指標		2	2	2 2		2	2	2		2	2	2	2		
	事業の選 (活動指	を成度標をもとに評価)				達成されていない										
	事業の成 (成果指	₹ 標をもとに評価)				上がっていない										
	事業の効 (事業費	加率性 に対する成果)				上がっていない										
	総合評価	fi .				普通である										
事務評価内容			対く全道お最手象ついめのまない場合では、からに都動なり害か送のいて重でがと活重のいて重でがと活重を持方自要お障変を要なり害か送の助きがとのいるがとがしている。	く全道お最手象ついめでな国のいも特をできません。地て重では野からまりまた。これで重要が摩変を要といました。これではいいまでできません。	く全の い、 い、 い、 いて 重で いい も に 主 いて 事 で が と 活 要 あ 的 き ろ が と 活 要 る 的 と 活 き る が と う と う と う と う と う と う と う と う と う と	判3 東京 東京 東京 東京 東京 中間 で 大 で で 大 で が は た さ 市 も る が め が に の が に の が に の に 。 に に 。	対く全道が最大の大きな、海には動力をは、大きな、海には動力を発育的生活を表すと活動をおいました。これが、大きなといいれば、大きなといいれば、大きなといいれば、大きなどのは、大きないは、大きなどのは、大きなどのは、大きなどのは、大きなどのは、大きなどのは、大きなどのは、大きなどのは、大きなどのは、大きなどのは、大きなどのは、大きなどのは、大きなどのは、大きなどのは、大きなどのは、大きなどのは、大きなどのは、大きないは、大きないは、からないは、大きないは、大きないは、大きないは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、		自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	

今後の方向性 現状のまま継続 R5:本事業の対象者は少ないものの、北海道においては日常生活及 び社会生活に自動車は不可欠であり、自動車を改造することによっ て障がいを有する以前と同様の社会参加を継続することができるこ とから、事業の継続は必要と考える。 方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)

## [PLAN]

## 事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	日常生活用具	L給付等支援事	業		事業期間	平成	18年度 ~	— 年度					•	<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-3-1	他に関連する 基本事業						所管課係	社会福祉課社会福祉係
目的 (何のために実施するのか)	重度の障害者及び	び障害児に対し、	日常生活用具の給	付又は貸与を行	- ハ、重度障害者の自	日立生活を支援	きする。	手段 (どのような方法で 実現するのか)	の支給、貸与を	にかかる費用につ	は、給付等に要す	る費用の1割とし	、障害者自立支援	宅改修費など必要な日常生活用具 最法に基づく補装具費に準ずる。業 除した額とし、別に定める基準額
		市内に住所を有す 悦世帯に属する者		定められた重度	章害者等。貸与対象	き者は、左記の	同様の者であっ	成果 (どのような効果が 得られるのか)	重度の障害者等	が必要な日常生活	用具の支給、貸与	の支援を行うこと	こにより、地域で	の自立生活及び社会参加を促す。
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	平成18年10月より	り施行された障害者	皆自立支援法にお	らいて市町村の必須	事業として位	置付けられたこと	から、砂川市障害者	<b>f地域生活支援</b> 事	業実施規則(平成)	8年10月31日規則	第51号)を制定し	,、事業を開始した	t= .

## [DO]

## 実績

				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3 次実施4カ年計	画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国 費	計画額	3, 112, 000	3, 112, 000	3, 112, 000	9, 336, 000	3, 672, 000	3, 672, 000	3, 672, 000	11, 016, 000	3, 672, 000	3, 672, 000	3, 672, 000	3, 672, 000	14, 688, 000	35, 040, 000
		予算計上額	3, 112, 000	3, 550, 000	3, 610, 000	10, 272, 000	3, 672, 000	3, 672, 000		7, 344, 000					0	17, 616, 000
		実績額	1, 193, 733	1, 309, 321	1, 534, 204	4, 037, 258	1, 327, 602			1, 327, 602					0	5, 364, 860
	道 費	計画額	1, 556, 000	1, 556, 000	1, 556, 000	4, 668, 000	1, 836, 000	1, 836, 000	1, 836, 000	5, 508, 000	1, 836, 000	1, 836, 000	1, 836, 000	1, 836, 000	7, 344, 000	17, 520, 000
		予算計上額	1, 556, 000	1, 774, 000	1, 805, 000	5, 135, 000	1, 836, 000	1, 836, 000		3, 672, 000					0	8, 807, 000
		実績額	1, 219, 371	1, 237, 988	1, 308, 662	3, 766, 021	1, 132, 646			1, 132, 646					0	4, 898, 667
	地 方 債	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
入	その他	計画額				0				0					0	0
<b>≥</b>		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
れ	一般財源	計画額	1, 557, 000	1, 557, 000	1, 557, 000	4, 671, 000	1, 837, 000	1, 837, 000	1, 837, 000	5, 511, 000	1, 837, 000	1, 837, 000	1, 837, 000	1, 837, 000	7, 348, 000	17, 530, 000
た		予算計上額	1, 557, 000	1, 776, 000	1, 806, 000	5, 139, 000	1, 837, 000	2, 152, 000		3, 989, 000					0	9, 128, 000
12		実績額	3, 583, 604	3, 474, 524	3, 955, 717	11, 013, 845	3, 074, 153			3, 074, 153					0	14, 087, 998
事	事業費合計	計画額	6, 225, 000	6, 225, 000	6, 225, 000	18, 675, 000	7, 345, 000	7, 345, 000	7, 345, 000	22, 035, 000	7, 345, 000	7, 345, 000	7, 345, 000	7, 345, 000	29, 380, 000	70, 090, 000
4114		予算計上額	6, 225, 000	7, 100, 000	7, 221, 000	20, 546, 000	7, 345, 000	7, 660, 000	0	15, 005, 000	0	0	0	0	0	35, 551, 000
業		実績額	5, 996, 708	6, 021, 833	6, 798, 583	18, 817, 124	5, 534, 401	0	0	5, 534, 401	0	0	0	0	0	24, 351, 525
費					者6,978,000円 児 243,000円		者7,088,000円	者7, 403, 000円 児 257, 000円								
	事業費予算の		元 43,000円	元 150,000円	元 243,000円		yE 237,000円	元 257,000円								
の	内容															
推																
7111			給付件数の減	給付件数の増	給付件数の増		給付件数の増	給付件数の増								
移	<b>並た在る祭</b> し		小口门丁奴ひが	中では一大の石	作り一致の追		和り下数の増	和り一致の増								
	前年度予算と の比較															
	(増減理由)															
			予算額のほぼ全				予算額のほぼ全									
	実績との比較		てを占めるスト	てを占めるスト	てを占めるスト		てを占めるスト									
	(増減理由)		マ装具用消耗品 の給付が減少し	マ 表具用用耗品 の給付が減小Ⅰ	マ 表具用用耗品 の給付が減小Ⅰ		マ装具用消耗品 の給付が減少し									
					たため。		たため。									
							II.		J							

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:年間給付費用	指標の求め方:1年間の事業所への給付費用(サービス費用基準額-利用者負担額)
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:年間利用者件数	指標の求め方:1年間にサービスを利用した件数

					第 1 次宝宝	施3力年計画		平間にり こへを		3 力年計画		1	华	3次実施4力年計	+面		
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合計
		活動指標 1		· <b>}</b>				6, 225	6, 225	6, 225		6, 225	6, 225	6, 225	6, 225		
	指	(単位/千	ノベリス					5, 535									
	標	成果指標 1 (単位/件)	. !	·}	97 697 14 628			697 610	697	697		697	697	697	697		
		事業の達成	7,130	10 0	14 628	122											
		(活動指標	をもとに評価	<b>(a)</b>			ほぼ達成されている										
			をもとに評価	<b>E</b> )			少し上がっている										
		事業の効率	<sup> </sup> 性 対する成果)				少し上がっている										
		総合評価					普通である										
事務事業評価	評価内容	理の	日中または指	はある。 はある。 はある。 はある。 はのりまる。 はのりまる。 はのりまる。 はのりまる。 はのりまる。 はのりまる。 はいしてであいる。 にいてであいる。 にいている。 はいいてはいいでしている。 はいいてはいいではいる。 はいいてはいいでしている。 はいいてはいる。 はいはいないがる。 はいはいないがる。	こがわして 蓄蔵 こ用のも常であらればない。 日本 はいり である できょう できない はいり できない はい はいり できない はいり はいり はいり はいり はいり はいり はいり はいり はいり はい	はあります。はあります。はあります。はあります。ないます。はないます。はないます。はないます。はないます。はないます。はないないないます。はないます。はないます。はないます。はないます。はないます。はないます。はないます。はないます。はないます。はないます。はないます。はないます。はないます。はないます。はないます。	に経減り必付こり成計況らると、果歯にとなりのをよに給るあいます。要がとと、果歯にる音判別をにいるでが、これでは、これでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	日常ない。 日常ない はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はい	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		<b>会然のまた</b>	5 ##				現状のまま継続										
		今後の方向	1) II	R5· 太事業利	<b>┃</b> 用者の9割以上はス	トーマ告設に伴う		R8 :				R10 :					
	改善、	生の判断理! 改革の内: R8、R10)	容	袋)の申請で 具となってい (住宅改修) 日常生活用具 地域生活支援	ありまた。 ありまた、 ありまた、 の一マにもたか ではもたが地 ではいるない 事業に が構まに が構まに が が は は が が が が が が が が が が が が が	者の日常生活には ん吸引器や居宅生 域で生活するため おり、障害者総合 必須事業として位	必要不可欠な用 活動作補助用具 には欠かせない 支援法に基づく										

#### [PLAN]

#### 事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 過疎計画掲載

	事 業 名	通所施設交通	i費助成事業			事業期間	平成1	0年度 ~ -	- 年度						
	事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-3-1	他に関連する 基本事業						所管課係	社会福祉課社会福祉係
	目的 (何のために実施する のか)	障害者の通所施記 の訓練を通して社	役に通所する者に ±会復帰、社会参	対して交通費を補加を促進する。	助することによ	- り、経済的負担の朝	₹減を図るととも	もに、通所施設で	手段 (どのような方法で 実現するのか)	通所者が最も経済 設が発行する通序				補助する。通所乳	<b>経績に応じた申請があり、通所施</b>
- 1	対象 (誰・何を対象として いるのか)	障害者の通所施設	段に通所する者。						成果 (どのような効果が 得られるのか)	障害者の通所施設 地域生活の向上や	段に通所する者に や、通所施設での	対して交通費を補 訓練を通して社会	助することにより 復帰、社会参加の	、通所にかかる& )促進に繋がってし	経済的負担が軽減され、通所者の いる。
ı															

事業開始時の状況・これまでの経

【つむぎ】障害者の地域生活向上を目的として、砂川市つむぎの家(知的)、に通所するものに対し実費相当額の交通費の50/100を補助する。 平成17年度から行革により10%減額し45/100を補助することになった。市単独事業である。 【くるみ】精神障害回復者の地域生活の向上や社会復帰の促進を目的として、くるみ会通所施設に通所する者に対し交通費の1/2を補助。 平成17年度から行革により10%減額し45/100を補助。道の補助事業(1/2)であるが、補助対象経費が下限額に達していないことから、実質市単独事業となっている。

#### [DO]

実績

				第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第4年次(6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国 費	計画額	(3年度)	(4年度)	(3年度)	п н	(0年度)	(/年度)	(0年度)	1 11	(9年度)	(10年度)	(日午及)	(12年度)	1 11	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	道 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	地 方 債	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
-		実績額				0				0					0	0
入	そ の 他	計画額				0				0					0	0
<b>≥</b>		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
れ	一般財源	計画額	223, 000	223, 000	223, 000	669, 000	75, 000	,	75, 000		75, 000	75, 000	75, 000	75, 000	300, 000	1, 194, 000
た		予算計上額	223, 000	99, 000	74, 000	396, 000	75, 000	,		149, 000					0	545, 000
12		実績額	52, 270	33, 550	33, 770	119, 590	29, 800			29, 800					0	149, 390
事	事業費合計	計画額	223, 000	223, 000	223, 000	669, 000	75, 000	75, 000	75, 000	225, 000	75, 000	75, 000	75, 000	75, 000	300, 000	1, 194, 000
-414-	-	予算計上額	223, 000	99, 000	74, 000	396, 000	75, 000	74, 000	0	149, 000	0	0	0	0	0	545, 000
業		実 績 額	52, 270	33, 550	33, 770	119, 590	29, 800	0	0	29, 800	0	0	0	0	0	149, 390
費	********		105,000円	つむぎ 46,000円 くるみ	つむぎ 46,000円 くるみ			つむぎ 46,000円 くるみ								
の	事業費予算の 内容				くるみ 28,000円			くるみ 28,000円								
144	.,,,		,	,	,		,	,								
推			くるみ利用予定	되므로 다 속 소 글	되므로 다 속 소 경		7 T Z D D ** 0	通所予定回数の								
移	前年度予算と の比較 (増減理由)		くるみ利用で定 者の増	利用予定省の減	利用予定省の減		通所予定回数の 増	通所予定回数の減								
	実績との比較 (増減理由)		利用となったこ	に対し、2名の 利用となったこ	に対し、2名の		利用予定者4名 に対し、2名の 利用であったこ と及び通所回数 の減。									

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:施設通所者への交通費補助金額	指標の求め方:1年間の施設通所者への交通費補助金額
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名:通所施設交通費補助利用者数	指標の求め方:1年間の通所施設交通費補助利用者数

				第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4力年記	十画		第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
	指	活動指標 1 計画値 (単位/千円) 実績値	223 53		223 34		243 30	L	243		263	263	263	263		
	標	成果指標 1 計画値	9	9	9		10		10		11	11	11	11		
		(単位/人) 実績値 事業の達成度	6	2	2	生	2									
		(活動指標をもとに評価) 事業の成果				達成されていない										
		(成果指標をもとに評価)				上がっていない										
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				上がっていない										
		総合評価				普通である										
事務事業評価	評価内容	総合評価の判断理由また仕場標	がず金生め助りる軽者向設し社会がず金生め助りる軽者専工い費とに負、通ご所的れ域、訓会加いの代表が、計会が、計会が、計会が、計会が、計会が、計会が、計会が、計会が、対象に対象を表す。	自実がず金生め助りる軽者向設し社にるこれに、す、経滅の上でて会繁。分は対な作し交る通済さ地やの社参がないに、する経済と地やの社参がのかけりなる通済とは負、訓金加っては毎頃を保険のでは年間のでは、訓金加って	ず金生め助りる軽者向設し社が、このでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	2ず績下況障のいとの続てれ「名相にいるでは、も値とでいるの様のいる音のいるでいるとでいるのでは、が助ととでいるが、は年別では、も値とが、は、も値とが、は、も値とが、は、も値とが、のでに通所なえらい。とが、みて 費継つら、」い実を状、みて 費継つら、」	実がず金生め助りる軽者向設し社会を表す。 は、か、活、するとに負、生活をしているできます。 を通うさいの社参 を表するとに負、生活を使の は、対な作し交る。 にするをにか担通活所を帰促の は、対なにしなるというが、 が、活、するにか担通活所を帰促の は、対なにして、 は、対なにして、 は、対なにして、 は、対なにして、 は、対なにして、 は、対なにして、 は、対なにして、 は、対なにして、 は、対なにして、 は、対なにして、 は、対なにして、 は、対なにして、 は、対して、 は、対して、 は、が、に、、 は、対して、 は、対して、 は、が、に、、 は、対し、 は、が、に、 は、が、に、 は、が、に、 は、が、に、 は、が、に、 は、が、に、 は、が、に、 は、が、に、 は、が、に、 は、が、に、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		 今後の方向性				手段の見直し										
	改善、			は少ないものの、 参加の促進に繋が			R8 :				R10 :					

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	軽度・中等度	難聴児補聴器	<b>器購入費等助成</b>	事業	事業期間	平成	28年度 ~ -	- 年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-3-1	他に関連する 基本事業						所管課係	社会福祉課社会福祉係
目的 (何のために実施するのか)	身体障害者手帳の助成することによ	)交付の対象とな り、言語の習得	らない軽度又は中等 や健全な発達を支持	等度の難聴児に 援する。	- 対し、補聴器の購♪	、又は修理に要	草する費用の一部を	手段 (どのような方 法で実現するの か)	等を行う。助成	を決定したときは	、助成決定通知書		請者に交付する。	市長に提出し、市長は必要な調査 申請者は決定通知書に記載され
対象(誰・何を対象として	の購入又は修理に	要する費用の一だし、医師の意	部を助成する。助 見を踏まえ、市長	成の対象となる	補聴器は、装用効果	の高い片側の	別に対し、補聴器 日に装用するため 合は、両耳に装用	成果 (どのような効果が 得られるのか)	軽度・中等度難り	徳児の成長過程に	おいて、聴力が確	雀保されることによ	り、言語の習得・	や健全な発達が期待できる。
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	平成27年度より1	北海道による財源指	昔置(地域づくり	J総合交付金)が開	始されたこと	から、砂川市におい	ても軽度・中等度	難聴児補聴器購力	入費等助成事業実力	施要綱を制定し、	平成28年度から事	業開始。	

## [DO]

実績

					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	地	方 債					0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
入	そ	の他	計画額				0				0					0	0
<b>₹</b>			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
れ	- :	般 財源	計画額	37, 000	37, 000		111, 000	38, 000	,	38, 000		38, 000	38, 000	38, 000	38, 000	152, 000	377, 000
<i>t</i> =			予算計上額	37, 000	38, 000	38, 000	113, 000	38, 000	38, 000		76, 000					0	189, 000
12			実 績 額	15, 760	0	0	15, 760	0			0					0	15, 760
事	事第	業費 合計	計画額	37, 000	37, 000	37, 000	111, 000	38, 000	00,000	38, 000	114, 000	38, 000	38, 000	38, 000	38, 000	152, 000	377, 000
			予算計上額	37, 000	38, 000	38, 000	113, 000	38, 000	38, 000	0	76, 000	0	0	0	0	0	189, 000
業			実績額	15, 760	0	0	15, 760	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15, 760
費の		養予算の 内容		1名分の補聴器 購入費補助	1名分の補聴器 購入費補助	1名分の補聴器 購入費補助		1名分の補聴器 購入費補助	1名分の補聴器 購入費補助								
推	_			前年度同額	補助基準額に関	前年度同額		前年度同額	前年度同額								
移		E度予算と の比較 曽減理由)			する根拠法令の改正	III I I I I I I I I I I I I I I I I I		TO A CONTROL MAN	TO THE ITEM								
	実績(増	きとの比較 自減理由)		予算額に対し、 1名分の修理費 用を補助したこ とによる減。	申請なし	申請なし		申請なし									

活動指標1(「手段」をもとに設定) 推	旨標名:年間助成	額		指標の求め方:1	年間の補聴器購 <i>]</i>	人費等助成額								
成果指標1(「成果」をもとに設定) 推	旨標名:年間利用	者件数		指標の求め方:1	年間に補聴器購入	、費等助成事業を	利用した件数							
		第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	-画		第 7 期
	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	台計

					第1次実施	3 カ年計画			第 2 次美施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	† 画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次(6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
		活動指標 1	計画値	37				37	37	37		37	37				
	指	(単位/千円)	実績値	16	0	0		0									
	標	成果指標 1	計画値	1	1	1		1	1	1		1	1	1	1		
		(単位/人) 事業の達成度	実績値	1	0	0		0									
		(活動指標をも	とに評価)				達成されていない										
		事業の成果 (成果指標をも	とに評価)				上がっていない										
		事業の効率性 (事業費に対す	る成果)				上がっていない										
		総合評価					普通である										
事務事業評価	評価内容	総理の実合である。	平価の判断標 きたは指標 も も も も も も も も も も も に 関す も も も も り れ り も り も り も り も り も り も り も	で体該軽難補用と期能達ケ社図らは障当を開発をににかや一会ら、場合なっていたの援りけ健ミョのる後の書な中にの援りけ健ミョのる後をこれがした。 関係をしていたのでは、 が、場のでは、 が、場のでは、 が、場のでは、 が、場のでは、 が、場のでは、 が、までは、 が、までは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	で体該軽難補用と期能達ケ社図らは障当度聴聴をよにわかー会ら、あ書と・旧かか一会ら、が明るでは関す、る全ュカ上とのではりけ健ミョのる後のでは、明なでは、明なでは、明なでは、明なでは、明なでは、明れでは、明れでは、明れでは、明れでは、明れでは、明れでは、明れでは、明れ	で体該軽難補用と期能達ケ社図らは障当度聴聴をににかや一会ら、は原当を聴聴をとにわか一会ら、が手になりは健ミョのる後の目がはないのと性のといいので使こ長語発・がか業とのののので使こ長語発・がか業とののので使こ長語発・がか業	判45利が補る成護を的令必へ行がらるため年年用、聴児を者図と和要1つあ、」。 一会にないますのでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	対で体該軽難補用と期能達ケ社図ら象は障当度聴器をにに力や一会ら、はる者な中にの援りけ健ミョのる後まで、帳が変し期るのでは、帳が変し期る成言な二力上と事に、しているでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般		自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向性					現状のまま継続										
		一人なの力円性		R5 · 対象者け小#	こいが、成長段階	において音声言語	による情報取得	R8 ·				R10 :					
	改善、	生の判断理由 改革の内容 R8、R10)		が制限されること	はいが、放放機構 には、その後の発 の継続が必要と考	達に大きな影響を	に60月板が行 及ぼすことか										

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	理解促進研修	・啓発事業			事業期間	平成	26年度 ~ -	- 年度				•	•	<u>'                                     </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-3-2	他に関連する 基本事業						所管課係	社会福祉課社会福祉係
目的 (何のために実施するのか)	地域生活においてじて、地域住民へ	て生じる障害者等 への働きかけを強	の社会的障壁を除 化することにより	去するために、[ 、障害者等が安/	- 障害者等への理解を ひして暮らすこと <i>の</i>	深めるための)できる地域社	研修及び啓発を通 会の実現を図る。			演会、障害者等と 祉団体、市民等を				できる形態により開催する。 業により行う。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	地域住民、障害者	<b>香団体、福祉団体</b>	、市民等。					成果 (どのような効果が 得られるのか)	障害者等への理! 心して暮らすこ	解を深めるための とのできる地域社	研修及び啓発を通 会の実現が図られ	iじて、地域住民へ しる。	への働きかけを強化	とすることにより、障害者等が安
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	障害者総合支援法	去において平成25st	₣度より市町村 <i>0</i>	)必須事業として追	加された事業で	であり、本市ではは	地域生活支援センタ	一ぽぽろへ委託り	し、フォーラム形	式による研修・啓	発事業を実施。		

## [DO]

実績

						第 1 次実施	3カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	費	計	画額	100, 000	100, 000	100, 000	300, 000	100, 000	100, 000	100, 000	300, 000	100, 000	100, 000	100, 000	100, 000	400, 000	1, 000, 000
			予	算計上額	100, 000	100, 000	100, 000	300, 000	100, 000	100, 000		200, 000					0	500, 000
				績 額	0	0	45, 134	45, 134	48, 294			48, 294					0	93, 428
	道	費		画額	50, 000	50, 000	50, 000	150, 000	50, 000	50, 000	50, 000	150, 000	50, 000	50, 000	50, 000	50, 000	200, 000	500, 000
				算計上額	50, 000	50, 000	50, 000	150, 000	50, 000	50, 000		100, 000					0	250, 000
			実	績 額	0	0	38, 498	38, 498	41, 203			41, 203					0	79, 701
	地	方 債		画額				0				0					0	0
投			予	算計上額				0				0					0	0
			実	績 額				0				0					0	0
入	そ	の他	! 計	画額				0				0					0	0
ŧ			予	算計上額				0				0					0	0
			実	績 額				0				0					0	0
れ		般 財 源	i 計	画額	50, 000	50, 000	50, 000	150, 000	50, 000	50, 000	50, 000	150, 000	50, 000	50, 000	50, 000	50, 000	200, 000	500, 000
			予	算計上額	50, 000	50, 000	50, 000	150, 000	50, 000	50, 000		100, 000					0	250, 000
た			実	績 額	0	0	116, 368	116, 368	110, 503			110, 503					0	226, 871
事	事:	業費合計	計	画額	200, 000	200, 000	200, 000	600, 000	200, 000	200, 000	200, 000	600, 000	200, 000	200, 000	200, 000	200, 000	800, 000	2, 000, 000
			予	算計上額	200, 000	200, 000	200, 000	600, 000	200, 000	200, 000	0	400, 000	0	0	0	0	0	1, 000, 000
業			実	績 額	0	0	200, 000	200, 000	200, 000	0	0	200, 000	0	0	0	0	0	400, 000
費の推	事業	業費予算の 内容				委託料 200,000円	委託料 200,000円			委託料 200,000円								
移		年度予算と の比較 曽減理由)			前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額	前年度同額								
		漬との比較 曽減理由)			新型コロナウイルス感染症の影響によりフォーラムを開催できなかったことによる減。	ス感染症の影響に よりフォーラムを			予算同額									

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名:委託料	指標の求め方:フォーラム等開催委託料
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名:参加者人数	指標の求め方:フォーラム等参加者人数

						第1次実施	3 力年計画			第2次軍施	3 力年計画			笙	3次実施4力年計	一		or → ₩r
					第1年次	第2年次	第3年次	実施 3 力年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指標		計画値	200	200	200		200	200	200		200	200	200	200		
	指	(単位/千	i	実績値	0		200		200									
	標	成果指標 (単位/人		計画値	110	115	120		125 112	130	135		140	145	150	155		
		事業の達		実績値	0	0	63		112									
		手来の達	悪をもと	に評価)				達成されていない										
		事業の成: (成果指標		に評価)				上がっていない										
		事業の効果		成果)				上がっていない										
		総合評価						普通である										
事務事業評価	評価内容 総合評価の判断理由またはに関する自己分析			죠の判断 には指標 に関す ・析	口染り開た報記を者及営社去アすなと事からない。常生生壁のをのある状態を対していまれた日会で障心一めで、継いではないで、継いではない。では生壁のをのある続いといいまでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、		新ル響ラてぶフ催者課基施は日会で障型スにムいりオし雇題調し、常生活じたロー、用」講た障生活じたたに一、用」講た障生活じたは、健公障現題等本者及営社去のより、健公院のまと4福をが状しを事等びむ会している。	感よ理祉開た度催りるにとで 染り解了権がにを、」と至らな、 のが深一き令い定問いら、」 にで、つうにしかな、 がなったできない。 を がなったでしてが判い音い。 にの福をって開おあ断こ道価	「えら題等本者及営社去アす「えら題等本者及営社大会」、第生生を、発施は日会で障心一め、日本ので、主義をは日会で障心一め、日本ので、日本ので、日本ので、日本ので、日本ので、日本ので、日本ので、日本ので		自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方	向性					現状のまま継続										
	方向惊改善、	生の判断理 、改革の内 、R8、R10)	里由		整備が進んでいる のバリアフリーを 支援法に基づく地		章がい毎の特性を は必要な事業であ こおいては市町村	理解を深め、心 り、障害者総合	R8 :				R10 :					

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	地域活動支援	センター支援	長事業		事業期間	平成	18年度 ~ -	— 年度	]				•	<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-3-4	他に関連する 基本事業						所管課係	社会福祉課社会福祉係
目的 (何のために実施するのか)	障害者等の地域の 保。	)実情に応じた創 <sup>.</sup>	作活動、生活活動の	の機会の提供、	- 社会との交流促進及	び日中におけ	る活動の場の確	手段 (どのような方法で 実現するのか)	施設に対して運	営費を補助する。	補助金額は国・追	値の基準に基づく∮	ものであり、市がネ	浦助した額の一部を国・道が助成
対象 (誰・何を対象として いるのか)	社会福祉法人くる	るみ会						成果 (どのような効果が 得られるのか)	障害者又は障害」また、創作活動、	児の保護者等介護 、生産活動等を通	を行う者から相談 じ、社会との交流	後等に応じることで この促進等にも繋が	で、情報の提供等劇 がっている。	必要な援助を行うことができる。
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	平成18年10月より	り施行された障害者	香自立支援法にお	いて市町村の必須	事業として位記	置付けられたこと	いら、砂川市障害者	<b>适</b> 5地域生活支援事業	 業実施規則(平成	18年10月31日規則	第51号)を制定し	ノ、事業を開始し <i>た</i>	

## [DO]

実績

(単位:円) 第 7 期

				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第:	3次実施4カ年計	画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国 費	計画額	1, 270, 000	1, 270, 000	1, 270, 000	3, 810, 000	1, 450, 000	1, 450, 000	1, 450, 000	4, 350, 000	1, 450, 000	1, 450, 000	1, 450, 000	1, 450, 000	5, 800, 000	13, 960, 000
		予算計上額	1, 270, 000	1, 330, 000	1, 433, 000	4, 033, 000	1, 450, 000	1, 450, 000		2, 900, 000					0	6, 933, 000
		実 績 額	1, 330, 750	1, 443, 750	1, 450, 500	4, 225, 000	1, 472, 250			1, 472, 250					0	5, 697, 250
	道費	計画額	635, 000	635, 000	635, 000	1, 905, 000	725, 000	725, 000	725, 000	2, 175, 000	725, 000	725, 000	725, 000	725, 000	2, 900, 000	6, 980, 000
		予算計上額	635, 000	665, 000		2, 016, 000	725, 000	725, 000		1, 450, 000					0	3, 466, 000
		実 績 額	541, 186	589, 456	558, 363	1, 689, 005	606, 468			606, 468					0	2, 295, 473
	地 方 債	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
\ \	その他	計画額				0				0					0	0
à		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
れ	一般財源	計画額	3, 179, 000	3, 179, 000		9, 537, 000	3, 627, 000	0, 027, 000	3, 627, 000		3, 627, 000	3, 627, 000	3, 627, 000	3, 627, 000	14, 508, 000	34, 926, 000
た		予算計上額	3, 179, 000	3, 328, 000		10, 093, 000	3, 627, 000	-, ,		7, 340, 000					0	17, 433, 000
/-		実績額	3, 451, 024	3, 701, 264		10, 944, 885	3, 808, 872			3, 808, 872					0	14, 753, 757
事	事業費合計	計画額	5, 084, 000	5, 084, 000	5, 084, 000	15, 252, 000	5, 802, 000	5, 802, 000	5, 802, 000	17, 406, 000	5, 802, 000	5, 802, 000	5, 802, 000	5, 802, 000	23, 208, 000	55, 866, 000
.alle.		予算計上額	5, 084, 000	5, 323, 000	5, 735, 000	16, 142, 000	5, 802, 000	5, 888, 000	0	11, 690, 000	0	0	0	0	0	27, 832, 000
業		実 績 額	5, 322, 960	5, 734, 470	5, 801, 460	16, 858, 890	5, 887, 590	0	0	5, 887, 590	0	0	0	0	0	22, 746, 480
費の推	事業費予算の 内容		2,542,000円 機能強化	機能強化	基礎事業 2,867,500円 機能強化 2,867,500円		機能強化	基礎事業 2,944,000円 機能強化 2,944,000円								
移	前年度予算と の比較 (増減理由)		地域活動支援センター利用者割の増。	ンター利用者割			地域活動支援センター利用者割の増。	地域活動支援センター利用者割 の増。								
	実績との比較 (増減理由)		地域活動支援セ ンター利用者割 の増。	ンター利用者割	地域活動支援セ ンター利用者割 の増。		地域活動支援セ ンター利用者割 の増。									

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名:地域活動支援センターに対する運営費の補	指標の求め方:地域活動支援センターに対する運営費の補助額
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:年間利用者延人数	指標の求め方:年間利用者延人数

					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	一		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
		活動指標 1		5, 084	5, 084	5, 084		5, 084	5, 084	5, 084		5, 084		5, 084	5, 084		
	指	(単位/千F	八根區	5, 323	5, 735	5, 802		5, 888									
	標	成果指標 1 (単位/人)		1, 841	1, 841	1, 841		1, 841 1, 650	1, 841	1, 841		1, 841	1, 841	1, 841	1, 841		
		事業の達成	八根區	1, 635	2, 078	1, 804		1, 650									
			をもとに評価)				達成されている										
		(成果指標	をもとに評価)				上がっている										
			性 対する成果)				上がっている										
		総合評価					極めて良好である										
事務事業評価	評価内容	理の		地ンい日動お産ての役場である。大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、	ンい日動お産てのは、つけな作をのは、とかけな作をのり活社と創等といいるがある。 では、これなな作をのり活社と創等といいるがの活て生じ流では、の話では、対しているが、対しているが、対しているが、対しているが、対しているが、の話で生じ流には、はいいの話で生じ流には、はいいの話で生じ流には、はいいの話では、はいいいの話では、はいいの話では、はいいいの話では、はいいいの話では、はいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	日中の場合を通り、日本の場合のは、日本の場合のは、日本の場合のは、日本の場合のでは、日本のでは、	活りる。 活ります。 までの人に、 接て間はことでしている。 でし。 でしている。 でしてい。 とっして。 とっして。 とっし。 とっと。 とっと。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と	地ンい日動お産ての役場では、大きない日動お産でのり活社促する。一にに場、動会にているので、通交常とのできる。といるでは、大きないの役割をできる。	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向	1性				現状のまま継続										
	方向 <sup>†</sup> 改善、 (R5、	生の判断理 、改革の内 <b>3</b> 、R8、R10)		R5:地域活動支技の 用で、は多く できる会参市である は8ででいては8ででいては8ででいては8ででいては8でである センターである 業の継続は必要と	て、また、同じ悩 社会復帰の促進に 対等割と利用者割 当市の利用者も	役立っている。ま をそれぞれ負担し	交流する場とした、運営費につている広域的な	R8 :				R10 :					

#### [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	障がい者相談	<b>支援事業</b>			事業期間	平成	18年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外		第7期総合計画 の位置付け	1-3-4	他に関連する 基本事業	1-3-3		-			所管課係	社会福祉課社会福祉係
(何のために実施する	市から委嘱された 介護を行う家族等 進を図る。	た障害者相談員や、 等からの相談に応	、相談支援事業を じ、必要な情報の	行う委託事業者 <i>抵</i> 提供や指導、援助	- が、障がい者又は随 助を行い、関係機関	章がい児の保護 間との連携を図	者及び障害者等の り、地域福祉の増	手段 (どのような方法で 実現するのか)	市内に住所を有す	「る障がい者等及	びその家族、保護	養者等。		
(誰・何を対象として	家庭・職場等への	章がい者等に対し の随時訪問、電話 等へ出席し、情報 <sup>」</sup>	・メール等の方法	により、必要な打	地域活動支援セン 旨導、助言、支援な	ターの相談事業 よどを行う。また	者などが、来訪、 た、関係機関等が	(10 m 1 m 4 m 10	障がい者又は障か 就労等を促し、障				りを行い、地域で <i>0</i>	D自立した生活および社会参加、
事業開始時の状況緯	・これまでの経	なった。 相談支援事業:自いた(委託費 O P	自立支援法改正以	来、地域生活支援 支援法の改正(つ	···・ハー-・ベー- ・センターぽぽろが	、北海道から排	ようだ。 おおおおままだの指 おおおおままだの指		の精神障害者地域	生活移行支援事	業(退院促進事業	)を実施し、地域	活動支援センター	国からの交付税措置されることに -を運営する中であわせて実施して にはかるために委託契約を結んだ

#### [DO]

実績

			第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
		第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
		(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	画額				0				0					0	0
	計上額				0				0					0	0
	績 額				0				0					0	0
	画額				0				0					0	0
	計上額				0				0					0	0
	績 額				0				0					0	0
地方債計画	画額				0				0					0	0
12	計上額				0				0					0	0
	績 額				0				0					0	0
	画額				0				0					0	0
<b>X</b>	計上額				0				0					0	0
<b>美</b>	績 額				0				0					0	0
100 110 110	画額	2, 566, 000	2, 566, 000	2, 566, 000	7, 698, 000	2, 782, 000	2, 702, 000	2, 782, 000		2, 782, 000	2, 782, 000	2, 782, 000	2, 782, 000	11, 128, 000	27, 172, 000
	計上額	2, 562, 000	2, 927, 000	2, 888, 000	8, 377, 000	2, 782, 000	2, 748, 000		5, 530, 000					0	13, 907, 000
天市	績 額	2, 926, 400	2, 838, 000	2, 777, 600	8, 542, 000	2, 747, 440			2, 747, 440					0	11, 289, 440
<b>*</b>	画額	2, 566, 000	2, 566, 000	2, 566, 000	7, 698, 000		2, 782, 000	2, 782, 000	8, 346, 000	2, 782, 000	2, 782, 000	2, 782, 000	2, 782, 000	11, 128, 000	27, 172, 000
	計上額	2, 562, 000	2, 927, 000	2, 888, 000	8, 377, 000	2, 782, 000	2, 748, 000	0	5, 530, 000	0	0	0	0	0	13, 907, 000
業実	績 額	2, 926, 400	2, 838, 000	2, 777, 600	8, 542, 000	2, 747, 440	0	0	2, 747, 440	0	0	0	0	0	11, 289, 440
費	Į.			相談員(知的· 身体)25,000円		相談員(知的・身 体) 25, 000円×2名	相談員(知的・身 休)25 000円×2名								
事業費予算の				×2名		相談支援事業委託	相談支援事業委託								
の内容			相談支援事業委	相談支援事業委		料 2,728,000円 相談員費用弁償	料 2,694,000円 相談員費用弁償								
推				託料 2,838,000円		4,000円	4,000円								
THE.		相談支援事業利		相談支援事業利		<b>扣</b> 誂支採事業利	相談支援事業利								
移動在唐玄篇上				用者割の減。			用者割の減。								
前年度予算との比較															
(増減理由)															
			相談支援事業利			相談支援事業利									
実績との比較	,	用者割の増。	用者割の減。	用者割の減。		用者割の減。									
(増減理由)															
						U			ı						

1	旨標の	推移	・評価															
;	舌動指	標 1	(「手段」をもとに設	定)	指標名:年間相談	談支援件数		指標の求め方:1										
J	<b></b>	標 1	(「成果」をもとに設	定)	指標名:地域での	の自立生活、就労に	結びついた人数	指標の求め方:村	目談支援により、	地域での自立生活	、就労が可能と	なった1年間の人数	<b>发</b>					
						第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画	_		第	3次実施4カ年記	計画		第 7 期
					第 1 年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次(7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次(9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
ľ				計画値	600				600	600	600		600	600				
		指		実績値	818	822	1, 022		998									
		標	1202121212	計画値実績値	1	1	1		2	2		2	3	3	3	3		
	ŀ		事業の達成度	7 17 11		2	2	達成されている	0									
1			(活動指標をもとに 事業の成果	(評価)														
			成果指標をもとに	評価)				上がっている										
			事業の効率性 (事業費に対する成	(果)				上がっている										
			総合評価					良好である				判断理由:						
	務	評価内容	理由またし	の判断標 に関す 折	は員市談よるい応供援の生のな年ナ症やるみ、	談支援事業者に より行われてい る。多様な障が い者から相談に	談よるい応供援の生のな年口染移伴能置くす。者じや、連活大っ度ナ症行り、得接行多が、指関携をすない、イちた就関係をすない、イちた就関係とすないがに提とするが知類に職民がある。型スへとやするにいがに提と域でと本コ感とに技る		相は員市談よるのなな、本に、大学を開いています。 でいまりののでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	自己分析:	自己分析:	下沙风·土田 ·	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
1			今後の方向性					現状のまま継続										
	Ī					員は、地域の身近			R8 :				R10 :					
	2	<b>收善、</b>	±の判断理由 改革の内容 R8、R10)		ターぽぽろは、 数ではあるがー	事業の委託契約を 事権等を 有 を を を を を を を を を を を を を を る る る る	門的な支援を行っ 障がい者もおり、	ており、毎年少 自立や社会参加										

## [PLAN]

## 事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	地域生活支援	拠点事業			事業期間	令和	13年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	新規(予算)	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-3-4	他に関連する 基本事業			-			所管課係	社会福祉課社会福祉係
目的(何のために実施するのか)	障がい者の重度化が安心して生活で			、居住支援のたる	ー めの機能を備えた地	也域生活拠点を	整備し、障がい者	(どのような方法で	対応機能、③体馬	検の機会・場の提 ○構築等を行う機	供機能、④専門的 能) を備え、これ	]人材の確保・養成 しらの総合調整を行	戊機能、⑤サービ	相談機能、②緊急時の受け入れ・ス提供体制の確保及び地域の社会ト業務を地域生活支援センターぽ
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内に住所を有る	する、又は市が援	護の実施主体とな	る障がい者等					地域生活支援拠点に、今後の生活しのちも適切なサー	ごジョンが明確に	なることによって	養護者、対象者及	双方の不安解消に	いて相談することができるとともつながり、対象者が一人になった
事業開始時の状況 緯	・これまじの経	工夫により各市	正された障害福祉語 町村又は障害保健神 まである会和3年1	A 副祉圏域に少なく	(とも1つを整備す	者総合支援法!	第87条)においっ れた。市において・	て、障害者の重度化 も、障害の疑いがあ	と・高齢化や「親亡 5り居住支援を含む	こき後」を見据え、 ・専門的な支援を!	. 居住支援のため 必要とする市民が	の機能を備えた地 増加していること	地域生活支援拠点( :から、砂川市第一	こついて、地域の実情に応じた創意 7 期総合計画及び第 6 期砂川市障害

## [DO]

実績

						第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国		費	計画額	750, 000	750, 000	750, 000	2, 250, 000	765, 000	765, 000	765, 000	2, 295, 000	765, 000	765, 000	765, 000	765, 000	3, 060, 000	7, 605, 000
				予算計上額	750, 000	753, 000	760, 000	2, 263, 000	765, 000	765, 000		1, 530, 000					0	3, 793, 000
				実績額	327, 505	328, 621	343, 244	999, 370	369, 691			369, 691					0	1, 369, 061
	道		費	計画額	375, 000	375, 000	375, 000	1, 125, 000	382, 000	382, 000	382, 000	1, 146, 000	382, 000	382, 000	382, 000	382, 000	1, 528, 000	3, 799, 000
				予算計上額	375, 000	376, 000		1, 131, 000	382, 000	,		764, 000					0	1, 895, 000
				実績額	304, 888	309, 666	292, 594	907, 148	315, 280			315, 280					0	1, 222, 428
	地	方	債	計画額				0				0					0	0
投				予算計上額				0				0					0	0
				実 績 額				0				0					0	0
入	そ	<b>の</b>	他	計画額				0				0					0	0
<b>₹</b>				予算計上額				0				0					0	0
				実 績 額				0				0					0	0
れ	_	般 財	源	計画額	375, 000	375, 000		1, 125, 000	384, 000	001,000	384, 000	, ,	384, 000	384, 000	384, 000	384, 000	1, 536, 000	3, 813, 000
+-				予算計上額	375, 000	378, 000		1, 134, 000	384, 000	,		775, 000					0	1, 909, 000
た				実 績 額	867, 007	867, 995	884, 208	2, 619, 210	845, 398			845, 398					0	3, 464, 608
事	事訓	業費 合	計	計画額	1, 500, 000	1, 500, 000	1, 500, 000	4, 500, 000	1, 531, 000	1, 531, 000	1, 531, 000	4, 593, 000	1, 531, 000	1, 531, 000	1, 531, 000	1, 531, 000	6, 124, 000	15, 217, 000
				予算計上額	1, 500, 000	1, 507, 000	1, 521, 000	4, 528, 000	1, 531, 000	1, 538, 000	0	3, 069, 000	0	0	0	0	0	7, 597, 000
業				実 績 額	1, 499, 400	1, 506, 282		4, 525, 728	1, 530, 369	0	0	1, 530, 369	0	0	0	0	0	6, 056, 097
費の推	事業	養予算 内容	o o		均等割 123,000円 人口割	委託料 均等割 123,000円 人口割 1,384,000円	委託料 均等割 123,000円 人口割 1,398,000円		委託料 均等割 123,000円 人口割 1,408,000円	委託料 均等割 123,000円 人口割 1,415,000円								
移		F度予算 の比較 曽減理由			新規事業	人口割の増	人口割の増		人口割の増	人口割の増								
	実絹(堆	きとの比! 曽減理由!	較 )		予算額と同額	予算額とほぼ同 額	予算額と同額		予算額と同額									

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:年間委託料	指標の求め方:対	也域生活支援拠点実施に係る年間委託料		
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:年間対象者数	指標の求め方:	1年間に地域生活支援拠点事業によって支援した障がい者等の人数		
	第1次実施3力年計画		第2次実施3カ年計画	第3次実施4力年計画	第 7 期

						第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3カ年計画			筆	3次実施4力年記	十画		<b>会 7 #0</b>
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指標		計画値	1, 500	1, 500	1, 500		1, 500	1, 500	1, 500		1, 500	1, 500	1, 500	1, 500		
	指	(単位/千		実績値	1, 500	1, 507	1, 521		1, 531									
	標	成果指標 (単位/人		計画値	11	12	13		14 22	15	16		17	18	19	20		
		事業の達	;	実績値	8	16	28		ZZ									
		(活動指標	票をもと	に評価)				達成されている										
		事業の成 (成果指標		に評価)				上がっている										
		事業の効果 (事業費に		成果)				上がっている										
		総合評価	i					良好である										
事務事業評価	評価内容	Į.	総合語 会由 会由 主 が 会 自 己 合 う 合 の る 自 る う も う る う る う る う る う る う る う る う る う	面に直に直に直に直に直に直に直に直に直に しままま かままま かままま かままま かままま かままま かままま かまま	障付サにいいがの加か点が 書等で一繋潜者となが、今の 書手裏スっ的抱なってなえっ年る後組・ でなってなる。 を が在をとながい今の まなが、 の は か を を と が を と が を と が を と が を と が を と を が を と が を と が を と の を の を の を の を の を の を の を の を の を	付サードの加いがの加いが、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	自障付サにいいがの加か点びが予告に、一般では、一般である。 一般では、一般である。 一般である。 「はんである。 「はんである。 「はんである。 「はんである。」 「はんである。 「はんである。」	はあ計でらるた習よを変のでがった。 成支値の、 成支値の、 しっ偶を加い、 しっ偏降性を加いががにない。 はのはいががにいがががいない。 はいれば、 はいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはい	障付サにいいがの加か点が 害や世一繋潜者で対しら機で 手書に対しら機で を を が が の が の を が い 会 が の を る を く が い 今 の を る を る を る を る を る を る を る を る も を る を る	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
	今後の方向性							現状のまま継続										
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)				え、居住支援のた 者が安心して生活 砂川市・赤平市・ の3市4町とコー により中空知圏均	- めの機能を備え 5できる体制を構 歌志内市・奈井 - ディネータ 援地域生活支援拠 1 者の人数も増え	・高齢化や活動を表現をので、現れをので、現れをので、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	整備し、障がい 指針に基づき、 浦臼町・雨竜町 センターぽぽろ もので、支援を	R8 :				R10 :					

#### [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	障害者地域自	立支援協議会	<b>美運営事業</b>		事業期間	平成2	23年度 ~ —	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設が	第7期総合計画 の位置付け	1-3-4	他に関連する 基本事業	1-3-3					所管課係	社会福祉課社会福祉係
目的 (何のために実施するのか)	障害者等が地域に 祉サービス事業者 参加し、協議を行 すことを目的とな	音、保健、医療機 fい、相談支援事	98 *L* = P8	17 146 BB B女 中 ヤ C	7 /L 24 540 67 EA + 4	. I Optober 19 45 4	を援事業者、障害福 此の関係者が幅広く 中核的な役割を果た	1 <b>+</b> EV	相談支援事業を効 会を設置し、協議		ために、事業者、	雇用、教育、医鴉	₹等の関連する分型	<b>界の関係者からなる自立支援協議</b>
対象 (誰・何を対象として いるのか)	障害者(児)。又	は家族等						成果 (どのような効果が 得られるのか)	中立、公正な立場	<b>影で適切な相談支</b> 打	爰を実施するほか	、困難事例の対応	5、関係機関の連携	<b>携強化を推進することができる。</b>
事業開始時の状況 緯		平成23年7月1日 制度改正により		或自立支援協議会 或自立支援協議会	設置要綱制定。同	年8月に第1回協	議会を開催した。	定期的に協議会を	開催し、地域で障	害者が自立して生		できるよう支援に	ついて、関係者に	よる協議を行う。平成24年4月1日

## [DO]

実績

				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
			第1年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
	国 費	計画額	(8 1 )2/	(11/2/	(0 1 /2/	0	, , , , , ,	(, 1,2)	(0 1 / <b>2</b> /	0	(0 1 /2)	(10   12)	(111)2/	(12 1 )2/	0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	道 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地 方 債	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
,~		実績額				0				0					0	0
入	その他	計画額				0				0					0	0
ŧ		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
れ	一般財源	計画額	59, 000	189, 000	189, 000	437, 000	59, 000	59, 000	189, 000	307, 000	59, 000	59, 000	189, 000	59, 000	366, 000	1, 110, 000
_		予算計上額	59, 000		,		59, 000	59, 000		118, 000					0	596, 000
た		実績額	0	101, 260	83, 700		33, 500			33, 500					0	218, 460
事	事業費合計		59, 000	189, 000	189, 000	437, 000	59, 000	59, 000	189, 000	307, 000	59, 000	59, 000	189, 000	59, 000	366, 000	1, 110, 000
		予算計上額	59, 000	185, 000	234, 000	478, 000	59, 000	59, 000	0	118, 000	0	0	0	0	0	596, 000
業		実 績 額	0	101, 260	83, 700	184, 960	33, 500	0	0	33, 500	0	0	0	0	0	218, 460
費			委員長5,500円 委員4,800円×9	×3回 委員	委員長5,500円×4 回 委員4,800円		季昌4 800円×0	委員長5,500円 委員4,800円×9人								
_	事業費予算の		人	4,800円×11人	×11人×3回 委 員4,800円×9人×		l i	季田費 8 000円								
の	内容			×3回 需用費 8,000	1回 需用費		ス 需用費 8,000円 役務費 2,000円	<b>伐務</b> 賀 2,000円								
推			口 役務費 2,000	帯用質 0,000 円	8,000円 役務費 2,000円		<b>投務</b> 質 2,000円									
			前年度同額	障害者計画策定	障害者計画策定		計画策定終了の	前年度同額								
移	前年度予算と			協議のため開催	協議のため開催		ため、開催回数									
	の比較			回数が増加する ことによる予算	回剱か増加する ことによる予算		の減									
	(増減理由)			額の増	額の増											
			新型コロナウイ ルス感染症の影	委員の欠席によ る報償费の減	委員の欠席によ る報償費の減。		委員の欠席によ る報償費の減。									
	実績との比較		響により開催見	OTKIRR OF INC	0 TK 150 50 07 119% 0		0 TK 150 50 07 11% 0									
	(増減理由)		合わせ													

n	標の雅	移・評価	i														
汪	動指標	1 (「手段	と」をもとに設定)	指標名:地域自	立支援協議会開催	回数	指標の求め方:均	也域自立支援協議	会開催回数								
成	果指標	1 (「成界	具」をもとに設定)	指標名:課題等	解決数		指標の求め方:自	自立支援協議会に	報告された課題等	解決数							
					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年記	十画		第 7 期
				第1年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次(7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	指	活動指 (単位		1	3	3		1	1	(	3	1	1	3	1		
	楞	八 木 11	(111)		<u>-</u> 4	1		1	1	1	1	1	1	1	1		
	$\vdash$	(単位	/件) 実績値 達成度	. C	0	0		C									
			旨標をもとに評価)				あまり達成されていない										
		(成果	旨標をもとに評価)				上がっていない										
			効率性 費に対する成果)				上がっていない										
		総合評	価				問題がある										
CASE TABLE TOTAL TOTAL	事務事業平面	i	総合評価の判 理由またはに関 の実額値に関 る自己分析	はウの議合あるみ検の目れた。人が影会かるよ内討定指のという関係を表しいの目が表してでを対している。といいてでを対している。といいてでを対している。といいてでを対している。といいてを対している。といいては、	次者からでは、	度いのを委等を和計た学界研究を関係が定会、見令該、所支営者る社及いなる場所を関係を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	「問題がある」	協あ業価支議資改の個議議者者、援・調・不事の協会び者と議論の時に調の、利のなで関整発が護題で、利のないなどので、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の	方向性				手段の見直し										
								R8 :				R10 :				11	II
	改割	R5:障害者総合支援法により設置が努力義務については、保健所にかいては、保健別が障がい者支援に関する協として重要な役割を果たしており、協議会運事業と考える。  「内性の判断理由善き、改革の内容5、R8、R10)					整を行う協議体										

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	肢体不自由児	療育訓練事業	1		事業期間	昭和	157年度 ~ -	- 年度					•	<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-3-5	他に関連する 基本事業						所管課係	子育て支援課子育て支援係
(何のために実施する	を抑制する。軽度	ξの障害を持つ児:	童に対しては、日常	常生活に役立つ詞	・ は訓練を行うことに 訓練を行い自立を仮 テうことで言語発達	ます。	のる変形などの進行		市が開設する療る児童が通所し	育訓練施設(ふれ ,専門の訓練士(	あいセンター内) 理学療法士又は言	での訓練日に肢体 話聴覚士)による	体に障害を持つ児 な療育訓練を実施する	童(者)及び言語発達に遅れがあ する。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内に住所を有し	、、肢体に障害を	持つ児童(者)及び	び言語発達に遅れ	れがある児童				は、いわゆる変		制する効果があり	、軽度の障害を持		を持つ児童(者)に対する訓練 は、専門の訓練の実施や家庭でで
事業開始時の状況緯	・これまでの経	平成15年度より3 平成18年度の障害	を援費制度が導入さ 害者自立支援法の施	れ、これまでの 行により、児童	)通園センター事業 デイサービスは介	が児童デイサ 護給付として	、心身の発達や成 ービスに移行し、/ 位置付けられ、利月 9月、「砂川市母-	、学生の受入も開始 者負担は、国の定	した。 める額の1割とか	<b>ぶっている。</b>				

## [DO]

実績

					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年計	画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画合計
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	百二百
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	地 方	債	計画額				0				0					0	0
投		L	予算計上額				0				0					0	0
_			実績額				0				0					0	0
入	そ の	他	計画額				0				0					0	0
さ			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
れ	一般具	オ 源	計画額	152, 000	,			152, 000	,	152, 000	456, 000	152, 000	152, 000	152, 000	152, 000	608, 000	1, 520, 000
_			予算計上額	152, 000	152, 000		456, 000	152, 000	,		304, 000					0	760, 000
た			実績額	124, 000	114, 000	152, 000	390, 000	152, 000			152, 000					0	542, 000
事	事業費	合計	計画額	152, 000	152, 000	152, 000	456, 000	152, 000	,	152, 000	456, 000	152, 000	152, 000	152, 000	152, 000	608, 000	1, 520, 000
			予算計上額	152, 000	152, 000	152, 000	456, 000	152, 000		0	304, 000	0	0	0	0	0	760, 000
業			実 績 額	124, 000	114, 000	152, 000	390, 000	152, 000		0	152, 000	0	0	0	0	0	542, 000
費の推	事業費予 内容			訓練士謝礼 32,000円 事業委託料 120,000円	32,000円 事業委託料	訓練士謝礼 32,000円 事業委託料 120,000円		訓練士謝礼 32,000円 事業委託料 120,000円	訓練士謝礼 32,000円 事業委託料 120,000円								
移	前年度予 の比 (増減理	詨			前年度同額	前年度同額			前年度同額								
	実績との (増減理			新型コロナウイ ルス感染症によ る事業中止分の 減額	ルス感染症によ	増減なし		増減なし									

5動指標 7	1 (	「手段」をもと	とに設定)	指標名:肢体不良	自由児療育訓練日	数	指標の求め方:具	<b>厚門訓練士(理学</b>	療法士)による年	₣間延指導日数(Ⅰ	目)						
大果指標 *	1 (	「成果」をもと	とに設定)	指標名:肢体不良	自由児療育訓練参	加児童数	指標の求め方:服	支体不自由児療育	訓練に参加した年	F間延児童数(人)	)						
					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	13カ年計画			第	3次実施4カ年	計画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年 合 計	第4年次(6年度)	第5年次	第6年次	実施3カ年合計	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年 合 計	総合計画合計画
	: 丰 :	動指標 1	計画値	(3年度)	(4年度)	(5年度)	H 81	(6年度)	(7年度)	(8年度)		(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)		
指		勁拍標 □ 単位/日)	実績値	13	14			16				100	10				
標	成	果指標 1	計画値	48	48	48		48	48	48	3	48	48	4	8 48	3	
	_	単位/人)	実績値	41	37	50		53									
	(活	業の達成度					ほぼ達成されている										
	(成	業の成果					変わらない										
	(事	業の効率性事業費に対す					変わらない										
	総1	合評価		自己分析:	自己分析:	自己分析:	良好である 判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
事務事業評価		理由の実	または指標す 額値に関す 己分析	ル響実さ動標をるも徹専連ない、原性の大変には、大変に、大変に、大変に、大変に、大変に、大変に、大変に、大変に、大変に、大変に	ル響集さ動標をる援いてをを といいでは、 は回たに をよ回たに をよ回たに をいめた、 にっ門要庭続し にっ門要庭続し にっ門要庭続し にっ門要庭続し にっ門要庭続し にっ門要度続し にっ門要度続し にっ門要度続し にっ門要度続し にっ門要度続し にっ門要度続し にっ門要度続し にっ門要度続し にっ門要度続し にっ門要度続し にっ門要度続し にっ門要度続し にっ門要度続し にっ門要度続し にっ門要度続し にっ門要度続し にっ門を の業が の業が の業が のまる にった。	果標るし門をに神軽も今支では特を本、関なぶ保を接いい減な後援いいまな、の減な後になずったをと成事係療と護不るて専必家保なすったをもし業者育と者安機お門のとにてをが支もが等をはいませい。		果標るし門をに神軽も今支で、 特を達成では、 を成本に を成本に を成本に を成本に を を成本に を を は で は で は で は で す の も と 護 不 る で す の も と 護 不 る で す の も を ま る で す の も を ま の も を ま の も 。 を ま を ま の も 。 と ま を ま の も と ま を ら り に り に り に り に り に り に り に り に り に り									
	今往	後の方向性		R5 ·			現状のまま継続	R8 ·				R10 :					
		D判断理由 X革の内容 3、R10)		砂川 地域 は 対 は 域 と 対 を は 似 で る と 当 原 文 活 段 色 当 原 文 活 内 と 当 原 文 活 内 と も 事 本 神 る こ に 向 と を と 一 の と の し 資 の し の し の し の し の し の し の し の し の	て早期療育機関と を核にしる。 を核に関る。 をでは関る。 をでは関えると では関えると では関くこのもがて でいてでありするで でいてでありまたの をは でしていて では では では では では では では では では では では では では	連う必要重かる、に深め、とは、こと情でいる、といいとはでいる、めいいとなった。とないで話野務・で話野務・で話野務・では、でいいでをいいでをいいでを、知識にく関いている。間接要ない。	で見り で見り で見り で見り で見り であるに、いき でもれる。 でも、できれる。 でも、いき でも、のでは でも、のでは でも、のでは でも、のでは でも、のでは でも、のでは でものでする。 でものでする。 では、できる。 できる。 でる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	NO .				IXIU:					

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	子ども通園セ	ンター交通費	聞成事業		事業期間	平成	;10年度 ~	— 年度						·
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外		第7期総合計画 の位置付け	1-3-5	他に関連する 基本事業						所管課係	子育て支援課子育て支援係
目的 (何のために実施するのか)	子ども通園センタ ビスの充実を図る		の保護者の交通費を	を助成することに	こより、通園に係る	経済的負担を	軽減し、療育サー	手段 (どのような方法で 実現するのか)		そ受けるため、自宅 申請に基づき45/1		センターに通園する	る際に係る保護者の	の往復交通費(公共交通機関利
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内に住所を有し	,、就学前児童と	ともに子ども通園-	ェンターに通園で	ける児童の保護者			成果 (どのような効果が 得られるのか)	子ども通園セン	/ターに通園する際	の保護者の交通費	費を助成することに	こより、通園に係	る経済的負担が軽減される。
事業開始時の状況緯	・これまでの経	平成15年度より3 平成18年度の障害	ーは、平成3年に5 支援費制度が導入さ 害者自立支援法の旅 統合に伴い空き施設	れ、これまでの 行により、児童	通園センター事業 デイサービスは介	が児童デイサー 護給付として	ービスに移行し、 位置付けられ、利	小学生の受入も開始 用者負担は、国の第	計した。 ≧める額の1割と	なっている。				

## [DO]

実績

		第1次実施	13 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
	第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
国 費計画名				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績を				0				0					0	0
道費計画名				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績を				0				0					0	0
地 方 債 計 画 名				0				0					0	0
投 予算計上額				0				0					0	0
実績を				0				0					0	0
入その他計画名				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
美 積 名				0				0					0	0
れ 一般財源 計画 名	,		,		9, 000	-,	9, 000	,	9, 000	9, 000	9, 000	9, 000	36, 000	90, 000
予算計上額		9, 000	9, 000	27, 000	9, 000	11, 000		20, 000					0	47, 000
た実績名		0	0	0	0			0					0	0
事業費合計 計画 額		9, 000	9, 000	27, 000	9, 000	9, 000	9, 000	27, 000	9, 000	9, 000	9, 000	9, 000	36, 000	90, 000
予算計上客		9, 000	9, 000	27, 000	9, 000	11, 000	0	20, 000	0	0	0	0	0	47, 000
業 実績 客		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
費	交通費補助金	交通費補助金	交通費補助金		交通費補助金	交通費補助金								
事業費予算の														
の内容														
1//-														
推	前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額	バス料金改定に								
移	刑斗及问领	刑斗及问领	刑斗及问领		削牛及问做	伴う増								
前年度予算との比較														
(増減理由)														
	利用実績なし	利用実績なし	利用実績なし		利用実績なし									
実績との比較														
(増減理由)														
		1	1					ll .						

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:子ども通園センター交通費助成件数	指標の求め方:子ども通園センター交通費の助成を受けている者の年間延件数(件)
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名:子ども通園センター交通費助成者通所日数	指標の求め方:子ども通園センター交通費の助成を受けている者の年間延通所日数 (日)

					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年記	計画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
		活動指標 1	計画値	(3年度)	(4年度)		п п	36	(7年度)			(9年度)	(10年度)	(11年度)		1 11	
	指	(単位/件)		0	0	0		0									
	標	成果指標 1	計画値	72	72	72		72	72	72		72	72	72	72		
		(単位/日)	実績値	0	0	0		0									
			をもとに評価)				ほぼ達成されている										
		事業の成果 (成果指標で	: をもとに評価)				変わらない										
		事業の効率 (事業費に対	性 対する成果)				変わらない										
		総合評価					良好である										
事務事業評価	評価内容	総理のる	合評価の判断 由または指標 実績値に関す 自己分析	世所経しる度動指は多自し要えし利対うの帯する第千にで指標のく家で因ら、用応、継帯の済でたで指標のく家で因ら、用応、経生の明いでれ交すで今続けないのともあ利車るある通るき後はのなを成、成実た者通ととし関帯よ事との関帯と事との関帯と事との表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が	世所経しる度動指は多自し要えし、場合では、水のををは、水のでは、水のでは、水のでは、水のでは、水のでは、水のでは、水のでは、水ので	世所経しる度動指は多自し要えし利対うの帯す済でたで指標のく家で因ら、用応、継の高的もめの標とでの用いでいたすで今続のをを成、成実た者通ととし関帯よ事のがのをを成、成実た者通ととし関帯よ事とし関帯よ事のがのをを成、成実た者通ととし関帯よ事のがのをを成、成実にを通いできない。のでは、大いのでは、たいのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないので		世所経しる度動指は多自し要えし、世所経しる度動指は多自し要える見場負軽のあ及もあ利車るある通常のでれていていていていていている。機関は関係がのををとし、関係は関係がのをを対している。場所がのをを対している。		自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
			性				現状のまま継続										
		フレッカ門	IT	R5 :			シング みる 神色物	R8 :				R10 :					
	改善、	生の判断理は 改革の内容 R8、R10)		自家用車がなく、 る機会を失わせた	公共交通機関を ないため当該事業 ても継続すること した。	は必要であること	から、利用者が										

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	肢体不自由児	療育訓練交通	量費助成事業		事業期間	昭和	153年度 ~ -	- 年度					•	<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-3-5	他に関連する 基本事業						所管課係	子育て支援課子育て支援係
目的 (何のために実施するのか)	肢体不自由児療育 を図る。	§訓練に通う際の	交通費を助成する	ことにより、訓絲	東に係る経済的負担	旦を軽減し、療	育サービスの充実	手段 (どのような方法で 実現するのか)	支給の申請を受り	けた対象者に対し	、居住地から訓線	を行う施設へ通う	う際のハイヤー料:	金の45/100を支給する。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内に住所を有し	ノ、肢体不自由児	療育訓練に参加する	る児童(18歳未済	<b>あ</b> )の保護者			成果 (どのような効果が 得られるのか)	肢体不自由児療	育訓練を受ける際	の保護者の交通費	きを助成することに	こより、経済的負担	旦が軽減される。
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	平成15年度より3 平成18年度の障害	支援費制度が導入る 害者自立支援法の施	れ、これまでの 近行により、児童	通園センター事業 デイサービスは介	が児童デイサー 護給付として	ノ、心身の発達や成 ービスに移行し、小 位置付けられ、利用 9月、「砂川市母∃	学生の受入も開始  者負担は、国の定	した。 める額の1割とな	なっている。				

## [DO]

実績

1				210 - 242420	3カ年計画			第2次実施	3 万平計画				3次実施4カ年計	Ш		第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
国	費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
道	費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
地	方 債	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
入そ	の他	計画額				0				0					0	0
<b>ĕ</b>		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
れ ー +	般 財 源	計画額	3, 000	3, 000	3, 000	9, 000	3, 000	-,	3, 000		3, 000	3, 000	3, 000	3, 000	12, 000	30, 000
+-		予算計上額	3, 000	3, 000	3, 000	9, 000	3, 000	3, 000		6, 000					0	15, 000
<i>t</i> =		実績額	0	0	0	0	0			0					0	0
事事業	業費合計	計画額	3, 000	3, 000	3, 000	9, 000	3, 000	3, 000	3, 000	9, 000	3, 000	3, 000	3, 000	3, 000	12, 000	30, 000
		予算計上額	3, 000	3, 000	3, 000	9, 000	3, 000	3, 000	0	6, 000	0	0	0	0	0	15, 000
業		実績額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
費			交通費補助金	交通費補助金	交通費補助金		交通費補助金	交通費補助金								
事業	<b>養予算の</b>															
0	内容															
推																
			前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額	前年度同額								
移前年	F度予算と															
0	の比較															
(増	曾減理由)															
			利用実績なし	利用実績なし	利用実績なし		利用実績なし									
実績	責との比較															
(増	曾減理由)															

	CI 11- '-			The last of the		17 th at _b	He late and the late			977 M W (111)							-
_			」をもとに設定)		自由児療育訓練交		指標の求め方:3										
成	果指標 7	1 (「成果	」をもとに設定)	指標名:肢体不自	由児療育訓練交通	費助成者通所日数	指標の求め方:肌	<b>支体不自由児療育</b>	訓練交通費助成を	ど受けている者の	年間延訓練日数(	.日)					
					第1次実施	13カ年計画			第2次実施	あ3カ年計画			第	3次実施4カ年	計画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指標	( ( )	4	4	4		4	4		4	4	4		4 4	1	
	指標	(単位/	八根框	0	0	0		0				L .				4	
	175	成果指标 (単位/	7	4	4	4		4	4		4		4	 	4	1	
	_	事業の追	八根區	U	U	U											
			産成反 (標をもとに評価)				ほぼ達成されている										
		事業の原					変わらない										
			(標をもとに評価)				変わらない										
		事業の多	効率性 に対する成果)				変わらない										
		総合評価					普通である										
		総合評1	Щ	自己分析:	自己分析:	自己分析:	普通じめる  判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
				訓練施設利用者	訓練施設利用者	訓練施設利用者	当該事業は、療	訓練施設利用者		B C 7 101 .	刊剧廷田.	B C 77 171 .			B C 77 177 .	刊即连田.	
				は自家用車を利	は自家用車を利	は自家用車を利	育を受ける世帯の経済的事情が	は自家用車を利									
				用しており、助成を受ける人は	用しており、助成を受ける人は	用しており、助成を受ける人は	の経済的事情が 事業の実施状況	用しており、助 成を受ける人は									
				当年度ではいな	当年度ではいな	当年度ではいな	に影響するもの	当年度ではいな									
				いため、事業計画はまる	いため、事業計画は大下回るで	いため、事業計画は大下回って	である。現在の	いため、事業計画はまる									
事				凹値を下凹っている。	凹値を下凹っている。	凹値を下凹っている。	ところ利用者は いないが、自家										
7	評						用車がないなど	• • •									
	価						経済的に恵まれ										
務							ていない世帯に 対し、療育環境										
	容	4					の充実を図るた										
事	:		理由または指標				めの手段の確保 していることか										
			の実績値に関する自己分析				ら、「普通であ										
-344-	,		012331				る」と判断し										
業	•						た。										
評	<u>i</u>																
価	i																
		A% 0-	<u> </u>				現状のまま継続										
		今後のフ	力叫住	D5 ·			が 仏のまま 胚 統	R8 ·				R10 :					
				R5 :  近年実績はない <i> </i>	が、肢体不自由児	とその保護者が公	共交通機関で療	ιιο :				KIU:					
				育訓練を実施する	るふれあいセンタ	一まで移動するこ	とは非常に難し										
				く、自家用車また 	たはハイヤーでの イヤーでの段制を	移動となる。そこ 強いられることと	で、自家用車を										
				ヤー代による経済	・、 Cのおりで 斉的負担は大きく	、経済的負担を理	由に「訓練を受										
	方向	性の判断	理由	けることができれ	ない」という不条	理な不利益を解消	íするため、近年					1					
	改善	、改革の	内容	【実績はなくとも 【のまま継続」と	事業を継続する必 判断した	要があると考え、	万同性は「現状					1					
	(R5	. R8. R1	0)	マンケ ケ 州左 小児 』 CT	FIRI U/Lo												
												1					
												1					

#### [PLAN]

#### 事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 過疎計画掲載

事 業 名	地域療育推進	体制整備事業	ŧ		事業期間	平成	4年度 ~	— 年度							
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外		第7期総合計画 の位置付け	1-3-5	他に関連する 基本事業						所管課係	子ども通園セン	ター管理係
	砂川地域における		発見、早期療育の・	一貫した体制整備	帯と関係者の密接な	連携を確保し	、総合的かつ効勢	手段 (どのような方法で 実現するのか)		崖する。また、関				した体制整備を図る 重の家族を対象とし	
対象 (誰・何を対象として いるのか)	砂川地域の2市4健・教育に携わる	1町(砂川市、歌 5職員(砂川地域	志内市、上砂川町 療育推進協議会委	、奈井江町、浦E 員)及び子どもii	3町、新十津川町) 通園センターを利用	の障がい児の?  する児童の家?	療育・保育・保 族。	成果 (どのような効果が 得られるのか)			育に携わる職員が 育の推進が図られ		『門知識を習得し、	また、各関係機関	の連携を図る
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	母子通園センターター事業が、児童	ーは、平成3年に早 量デイサービスに利	早期療育(母子通 多行し小学生の受	園事業)を実施すけれる開始した	る目的で開設し。平成18年度の	し、心身の発達や	成長の遅れや心配の法の施行により児童	Dある幼児を対象に 電デイサービスはイ	ニ通園の場を設け ト護給付として位	療育指導を行って 置づけられ、利用	きた。平成15年度 者負担は国の定め	より支援費制度がる額の1割となっ	「導入され、これま <sup>っ</sup> ている。また、保育	での通園セン 所の統合に伴

い空き施設となった旧西保育所の建物を改修し、平成19年9月「砂川市母子通園センター」は「砂川市子ども通園センター」に名称を変更して移転開設した。

## [DO]

実績

				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国 費	計画額				0	155, 000	,	155, 000		155, 000	155, 000	155, 000	155, 000	620, 000	1, 085, 000
		予算計上額			191, 000	191, 000	155, 000	156, 000		311, 000					0	502, 000
		実績額		72, 485	46, 808	119, 293	55, 812			55, 812					0	175, 105
	道費	計画額				0	77, 000	,	77, 000		77, 000	77, 000	77, 000	77, 000	308, 000	539, 000
		予算計上額			95, 000	95, 000	77, 000	78, 000		155, 000					0	250, 000
	tot de tele	実績額		68, 336	39, 926	108, 262	47, 617			47, 617					0	155, 879
	地方債	計画額 予算計上額				0				0					0	0
						0				0					0	0
投	その他	実績額計画額	187, 000	187. 000	187. 000	561, 000	48, 000	45, 000	45, 000	138, 000	45, 000	45, 000	45, 000	45, 000	180, 000	879, 000
入	C OJ TE	予算計上額	187, 000	187, 000	187, 000	388, 000	50, 000	45, 000 56, 000	<del>4</del> 5, 000	138, 000	45, 000	40, 000	45, 000	45, 000	160, 000	494, 000
	-	実績額	124, 016	50, 707		248, 883	115, 918	36, 000		115, 918					0	364, 801
2	一般財源		124, 010	124, 000		372, 000	31, 000	34, 000	34, 000		34, 000	34, 000	34, 000	34, 000	136, 000	607, 000
れ	15X 141 11/15	予算計上額	124, 000	124, 000	11, 000	259, 000	29, 000	22, 000	04, 000	51, 000	04, 000	04, 000	04, 000	04, 000	100, 000	310, 000
.,, 0		実績額	106, 625	36, 885	46, 523	190, 033	51, 788	22, 000		51, 788					0	241, 821
た	事業費合計	計画額	311, 000	311, 000	311, 000	933, 000	311, 000	311, 000	311, 000	933, 000	311, 000	311, 000	311, 000	311, 000	1, 244, 000	3, 110, 000
事		予算計上額	311, 000	311, 000	311, 000	933, 000	311, 000	312, 000	0	623, 000	0	0	0	0	0	1, 556, 000
7		実 績 額	230, 641	228, 413	207, 417	666, 471	271, 135	0	0	271, 135	0	0	0	0	0	937, 606
業				講師謝礼	講師謝礼			講師謝礼		·						,
200				100千円 費用弁償	100千円 費用弁償		100千円 費用弁償	100千円 費用弁償								
費				复用开模 20千円	20千円			20千円								
の	事業費予算の 内容		需用費	需用費	需用費		需用費	需用費								
144	P17E			124千円 役務費·使用料	124千円 役務費·使用料		124千円 役務費・使用料	125千円 公務費 · 使田料								
推			等	等	等		等	等								
移				67千円	67千円			67千円								
	前年度予算と の比較		前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同様	需用費1千円の								
	(増減理由)							增								
			講師謝礼、費用	講師謝礼、保険	講師謝礼、保険		講師謝礼、費用									
			弁償、保険料等 の執行残(コロ	料等の執行残 3 日補正人46千円	料等の執行残 3日補正 A 45千		弁償、保険料等 の執行残 3月									
	実績との比較		ナ禍における	地域生活支援事	円		補正△16千円									
	(増減理由)			業の国・道費 は、地域療育推												
				進体制整備事業												
				へ充当									l			

相	保い指	移・計	ř100														
活	動指標	1 ( [	手段」をもとに設定)	指標名:砂川地均	域療育推進協議会	開催回数	指標の求め方:均	也域療育を推進す	るために開催する	会議(研修会・	学習会)の年間延	回数(件)					
成	果指標	1 ( F	成果」をもとに設定)	指標名:砂川地均	域療育推進協議会	参加人数	指標の求め方:均	也域療育を推進す	るために開催する	会議(研修会・	学習会)の参加人	数(人)					
					第1次実施	13カ年計画	_		第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年	計画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
			指標 1 計画値	3	3	3	8	3	3	(	3	3	3	(	3 3		
	指標	_	位/件) 実績値	3	3	3		3									
	行		指標 1 計画値 位/人) 実績値	150 152			)	150 143	150	150		150	150	150	150		
	$\vdash$		· 回/ハ/ : 美領旭 :の達成度	152	172	158		143									
			助指標をもとに評価)				達成されている										
			の成果 果指標をもとに評価)				少し上がっている										
			の効率性 業費に対する成果)				少し上がっている										
			・評価				普通である										
		400		自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
					昨年度に引き続	新型コロナウイ	令和2年度には 新型コロナウィ	砂川地域におけ									
							<b>新型コロデリイ</b> ルス感染症の拡										
							大により、講師										
					を徹底しなが ら、本研修会を		の派遣が困難と なり、一部研修										
				に関する理解を	開催することが	コロナ明け後も	会を開催するこ	終となってい									
Infli	===			深める必要かあ る。研修会等に	できた。 また、研修の受	市外の各種研修会ではオンライ	とができないこ とがあったが、	る。特に、福 祉・保健・医									
	評価			【ついては、新型	講者は、砂川地	ン研修が多い	令和3年度から	療・教育等の現									
矛	务内			コロナウィルス	域の各関係機関の支援者や保護	中、本研修会	は継続して開催 することができ										
	容		総合評価の判断	踏まえて、感染	者が参加してお	の集合形式での	ている。また、	る知識と対応力									
Idi	Ē		理由または指標の実績値に関す	予防対策を徹底	り、実績値が計画値を上回って	開催の要望が強くあり、集会形	感染症の影響に よる参加者の減	を有する専門職の育成が重要で									
			る自己分析	会を開催し、多	いる状況で、今	式の開催を継続	少が考えられた	あり、障害に対									
4	ŧ			くの関係機関の	後も発達障がい	しており、支援	が、研修の実施 方法として配信	する理解を深め 実践的な支援技									
7				支援者の研修支講と好評の声を	深めるため、事	交流の場として	の講習が増加し	夫成的な又抜技 術を習得するた									
_	_			いただいた。	業を展開する必	も貴重な機会と	ている状況の	めに、今後も事									
Ē	<del>"</del>			今後も事業を展 開する必要があ			中、集合型の研 修会を実施し、	美を展開する必 要がある。									
				る。		を展開する必要	多数の関係機関	2.1. 0.3 0.0									
ſī	<b>5</b>					がある。	の支援者が参加 し好評であった										
							ことから「普通										
							である」と判断した。										
							. = 0										
		今後	の方向性				現状のまま継続										
				R5 :		et 24 ct 12 c 45 · - 74	***   L =   L = **	R8 :				R10 :				ш	
					型コロナウイルス 動を行えることで												
				状況に戻りつつる	あると考えられる	。また、近隣市町	「でも専門職の人										
					足による人材育成 継続して実施する												
	方点	1性の半	判断理由		から「現状のまま												
	改割	、改革	革の内容														
	(R	5、R8、	K10)														

#### [PLAN]

#### 事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	子ども通園セ	ンター事業			事業期間	平成:	3年度 ~ -	— 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外		第7期総合計画 の位置付け	1-3-5	他に関連する 基本事業						所管課係	子ども通園センター管理係
目的 (何のために実施する のか)		その遅れに心配の ですることを目的		その発達を促する	- ことを目的に関係機	幾関と連携しなか	がら必要な療育指	手段 (どのような方法で 実現するのか)	対象児童及びその言をする他、保育する。	D家族がともに通 育所等の集団生活	園して、指導員が を営む施設を訪問	「日常生活の基本重 し、他者とのコミ	か作の指導や集団・ ミュニケーション・	への適応訓練、保護者に対する助 や活動に参加していくことを支援
対象 (誰・何を対象として いるのか)	砂川市、歌志内市	ī、上砂川町、奈:	井江町、浦臼町、	新十津川町に居の	主し、心身の発達や	◌成長の遅れに心	心配のある児童。	成果 (どのような効果が 得られるのか)	対象児童及びその や助言等を行い成					ら個々の発達に応じた適切な訓練 行う。
事業開始時の状況	・これまでの経	母子通園センター	-は、平成3年に5 - よ、平成3年に5	早期療育(母子通	通園事業)を実施す	る目的で開設し	、心身の発達やは	成長の遅れや心配の まにより 旧金ごく	ある幼児を対象に	こ通園の場を設け ◇仕よして位置づ	原育指導を行って はられ、利用者色	きた。平成15年よ	り支援費制度が認	算入され、これまでの通園センター また、保育所の統令に伴い空き族

母子通園センターは、平成3年に早期療育(母子通園事業)を実施する目的で開設し、心身の発達や成長の遅れや心配のある幼児を対象に通園の場を設け療育指導を行ってきた。平成15年より支援費制度が導入され、これまでの通園センター 事業が児童デイサービスに移行し小学生の受け入れも開始した。平成18年度の障害者自立支援法の施行により、児童デイサービスは介護給付として位置づけられ、利用者負担は国の定める1割となっている。また、保育所の統合に伴い空き施 設となった旧西保育所の建物を改修し、平成19年9月「砂川市母子通園センター」は「砂川市子ども通園センター」に名称を変更して移転開設した。令和3年度から保育所等訪問支援事業を開始した。

#### 【DO】 実績

					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第 8 年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国	費	計 画 額	191, 000	191, 000	191, 000	573, 000				0					0	573, 000
			予算計上額	191, 000	191, 000	0	382, 000	0			0					0	382, 000
			実 績 額	68, 078	0		68, 078				0					0	68, 078
	道	費	計画額	95, 000	95, 000	95, 000	285, 000				0					0	285, 000
			予算計上額	95, 000	95, 000	0	190, 000				0					0	190, 000
			実績額	63, 402	112, 000	100, 000	275, 402	38, 000			38, 000					0	313, 402
	地 方	債	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
投			実績額				0				0					0	0
	その	他	計画額	12, 406, 000	12, 406, 000	12, 406, 000	37, 218, 000	21, 178, 000	21, 046, 000	21, 046, 000	63, 270, 000	21, 046, 000	21, 046, 000	21, 046, 000	21, 046, 000	84, 184, 000	184, 672, 000
入			予算計上額	13, 236, 000	12, 526, 000	12, 078, 000	37, 840, 000	15, 352, 000	22, 476, 488		37, 828, 488					0	75, 668, 488
<b>≥</b>			実績額	7, 722, 910	10, 662, 815	12, 502, 001	30, 887, 726	16, 894, 516			16, 894, 516					0	47, 782, 242
	一般販	1 源	計画額	8, 271, 000	8, 271, 000	8, 271, 000	24, 813, 000	3, 124, 000	3, 652, 000	3, 652, 000	10, 428, 000	3, 652, 000	3, 652, 000	3, 652, 000	3, 652, 000	14, 608, 000	49, 849, 000
れ			予算計上額	7, 212, 000	7, 461, 000	8, 946, 000	23, 619, 000	8, 950, 000	8, 770, 512		17, 720, 512					0	41, 339, 512
+-			実績額	6, 639, 951	7, 756, 282	7, 842, 996	22, 239, 229	7, 547, 782			7, 547, 782					0	29, 787, 011
<i>t</i> =	事業費1	合 計	計画額	20, 963, 000	20, 963, 000	20, 963, 000	62, 889, 000	24, 302, 000	24, 698, 000	24, 698, 000	73, 698, 000	24, 698, 000	24, 698, 000	24, 698, 000	24, 698, 000	98, 792, 000	235, 379, 000
事			予算計上額	20, 734, 000	20, 273, 000	21, 024, 000	62, 031, 000	24, 302, 000	31, 247, 000	0	55, 549, 000	0	0	0	0	0	117, 580, 000
			実績額	14, 494, 341	18, 531, 097	20, 444, 997	53, 470, 435	24, 480, 298	0	0	24, 480, 298	0	0	0	0	0	77, 950, 733
業費の推移	事業費予 内容			需用費 1,273千円 委託料	需用費 1,387千円 委託料 947千円	人件費 17,221千円 71,221千円 71,221千円 71,221千円 960千円 その他 1,370千円 準切 52 52 54 54 54 54 54 54 54 54 54 54 54 54 54		人件費 20.540千円 無用費 1.668千円 5.30千円 その他 1.030千円 その他 1.064千円	人件費 26,082千円 第用発費 1.664千円 5.634千円 4.034千円 4.048千円 7.034千円 969千円								
	前年度予 の比較 (増減理 実績との (増減理	放 由) 比較		指導員未配置に よる報償費、職 員手当等の減、 3月補正△4,076	件費の減 補助指導員4-6月 未配置による報 償費、職員手補 等の減、3月補正	る費用弁償、燃 料費等の執行残		報酬・職員手当等の人件費の増 会計年度任用職員の報酬と職員の報酬と職員 よる報の増 3月補正1,041千	指導員の増員及び報酬・職員手当等の人 件費、備品購入費の増								

方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)

動指標	1 (「手段	」をもとに設定)	指標名:子ども)	通園センター開所	日数	指標の求め方: ∃	子ども通園センタ	一の年間開所日数	女 (日)							
某指標 :	1 (「成果	」をもとに設定)	指標名:子ども)	通園センター利用	者数	指標の求め方:子	子ども通園センタ	一の年間延利用者	· 子数(人)			_		-		
				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	も3カ年計画			第	3次実施4カ年記	計画		第 7 排
			第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計合
	活動指标 (単位/	·	230	.{	<b></b>		230		230	230	230	230	230	230		
指標	成果指标	人特征	1, 865				224 1, 865		1, 865		1, 865	1, 865	1. 865	1, 865		
	似来指作		1,000				1, 827	1, 000	1,003		1,000	1, 000	1,000	1,000		
		標をもとに評価)				ほぼ達成されている										
		標をもとに評価)				変わらない										
		に対する成果)				変わらない										
事務事業評価内容	総合評価	総合評価の判 関理由または指 様	町を挽り減高の療す療ないったの療り減らがいて児面の咳力を強い減高がいて見いている。以前には、少の一の場合が、少の一の場合が、少の一の場合が、少の一の場合が、少の一の場合が、少のでは、からのでは、からのでは、からのでは、からのできない。	き新ル患児感不用続ナ種影和用名の型スにや染良をいワが響る状況にや染良をいワがから度はいたよれがチむら度はいながをから度がある。	ル月症と的人断施な夕や対利健め禍に子少水のたいに感やにさる一換策用康、前戻どしたが感と基がのことが、は等継や理ぼ利てのいて、ないにに感やにさる一換策用康、前戻どしが感た上本がいこ当手の続職にコ用い数る状が感に本個判実にと沈楽、のナ態。減況	りよ状値回うる関等が総コ用つ下、リよ状値回うる関等が総の口状あ普、リ沢はっなが係をら続した態る通りに、、視して、大きに、変し、といい、は、変し、変し、変し、変し、変し、変し、変し、変し、変し、変し、変し、変し、変し、	用り用てと取のつ受業進化のつ受業進化を表す。	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判斷理由:	
	今後のス	方向性				現状のまま継続										
	性の判断	TIII	町) からの利用: 症が5類に移行る。本事業は、	徐々に利用実績が ニーズが高く、令 したこともあり、 砂川地域(2市4町 まま継続」と判断	和5年に新型コロ 利用実績は増加す )の療育支援の大	ナウイルス感染 ると見込んでい	R8 :				R10 :					

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	子ども通園も	2ンター改修事	業		事業期間	令和:	3 年度 ~	令和	1 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外		第7期総合計画 の位置付け	1-3-5	他に関連す 基本事業	ける	2-3-1		-			所管課係	子ども通園センター管理係
目的(何のために実施するのか)	当センターの施設の家族が、よりまる。	設及び設備の改修 安全で安心して施	や修繕を行うこと 設を利用すること	により、今後のカ ができるよう快ii	- 徳設の維持と長寿命 適な療育環境の充実	市化を図り、利 ■を推進し、対	用する児童及 象児童の利用	を図	手段 (どのような方法で 実現するのか)	施設及び設備が老	き朽化しており、i	改修・修繕を行う	•		
対象 (誰・何を対象として いるのか)	砂川市子ども通り	園センター(昭和	58年建設)							施設を利用する児 施設の長寿命化が		が、安全で安心し	て快適に施設を利	川用することができ	きる療育環境を維持するとともに
事業開始時の状況 緯	兄・これまでの経	使用するために	よ 八 祝 僕 以 廖 で 天	心しないれいみなら	、平成19年度に旧ないことから、令 でいことから、令	作る牛皮に座作	成・外室の以	多、 にっ	1レの以修、照明		記 設等総合管理計 暖房機の更新、短	画においては、鉄 寮育室内装改修工	骨造の建物につい 事を実施した。	で耐用年数を60年	Fと定めているが、建物を長期的に

#### 【DO】 実績

				第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年記	十画		第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次(6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
国	费	計画額	(0年度)	(十尺)	(3年度)	0	(0+12)	(7年度)	(0千度)	0	(9年度)	(10年度)	(日午及)	(12年度)	0	0
		予算計上額				0				0					0	0
	-	実績額				0				0					0	0
道	曹					0				0					0	0
	^	予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
地	, 方 債		25, 400, 000			25, 400, 000	2, 400, 000			2, 400, 000					0	27, 800, 000
		予算計上額	12, 700, 000			12, 700, 000	2, 450, 000			2, 450, 000					0	15, 150, 000
投		実績額	12, 450, 000			12, 450, 000	2, 000, 000			2, 000, 000					0	14, 450, 000
· そ	の他	計画額	1, 104, 000			1, 104, 000	1, 792, 000			1, 792, 000					0	2, 896, 000
入		予算計上額	9, 486, 000			9, 486, 000	1, 792, 000			1, 792, 000					0	11, 278, 000
ъ <b>–</b>		実 績 額	9, 300, 000			9, 300, 000	1, 474, 000			1, 474, 000					0	10, 774, 000
_	·般財源	計画額	1, 733, 000			1, 733, 000	1, 308, 000			1, 308, 000					0	3, 041, 000
れ		予算計上額	6, 051, 000			6, 051, 000	1, 258, 000			1, 258, 000					0	7, 309, 000
		実績額	5, 970, 000			5, 970, 000	1, 036, 000			1, 036, 000					0	7, 006, 000
た事	業費合計		28, 237, 000	0	0	28, 237, 000	5, 500, 000	0	0	5, 500, 000	0	0	0	0	0	33, 737, 000
事		予算計上額	28, 237, 000	0	0	28, 237, 000	5, 500, 000	0	0	5, 500, 000	0	0	0	0	0	33, 737, 000
		実績額	27, 720, 000	0	0	27, 720, 000	4, 510, 000	0	0	4, 510, 000	0	0	0	0	0	32, 230, 000
移	業費予算の 内容		屋根・外壁等改修工事 16,148千円 L E D 化改修工事 2,068千円 要房機更新 2,629千円 内部改作「上本 4,081千円 トイレ改修工事 3,311千円				ブール等設備改 修工事 5,500千円	予算計上なし								
	「年度予算と の比較 「増減理由)		公共施設等適正				こども・子育て									
	:績との比較 増減理由)		管理推進事業債 の活用、入札に よる減3月補正 △517千円				支援事業債の活 用、入札による 減 3月補正△990千 円									

相	際の推	移・評価															
活	動指標	1 (「手段」をも	とに設定)	指標名:改修・何	修繕件数 (工事請	負件数)	指標の求め方: 同	收修・修繕件数									
成	果指標	1 (「成果」をも	とに設定)	指標名:施設・記	設備の利用不可日	数	指標の求め方:4	<b>∓度内における施</b>	設・設備の利用で	下可日数							
					第1次実施	3 カ年計画	_		第2次実績	63カ年計画			9	3次実施4カ年	計画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	指	活動指標 1 (単位/件)	計画値実積値	5 5				1									
	標	成果指標 1	計画値	0				128	L								
		(単位/日)	実績値	0				93									
		事業の達成度 (活動指標を 事業の成果					達成されている										
		(成果指標を					変わらない										
		事業の効率性					上がっている										
		総合評価					極めて良好である										
事務事業評価価	評価内容	理由の実	評価の判断標 またはに関す こ分析	する、氏がらいます。 ことによりでいます。 にが図の対象では、 事本4 町第二 で 負担した。	修事業を行う予 定はなし。		判令定根修施がか好断断のでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	することによ り、既設の長 命化が図られ いる。 事業費は対象2 市4町が運営費		自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向性	ŧ				完了										
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)			R5: 令和3年度に実 了」と判断。	施した改修工事が	全で終了している	らことから「完	R8 :				R10 :					

# 第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 O 過疎計画掲載 ×

事 業 名	子ども通園セ	ンターICTシ	ステム導入事業	ŧ	事業期間	事業期間 令和6年度 ~						•		
事業性質区分	新規・継続	新規	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-3-5	他に関連する 基本事業						所管課係	子ども通園センター管理係
目的 (何のために実施するのか)	保護者と職員間の 実を図る。	)コミュニケーシ	ョンの円滑化と保証	<b>養者の利便性を</b>	・ 句上させ、職員の第	美務の効率化に	程護者連絡、療育記録、情報共有、請求事務までパッケージで搭載されたクラウド型のICTソフトを導入する。							
			志内市、上砂川町、 当センターの職員。		3町、新十津川町)	に居住し、心	なる。また、登 れまでの振り返	降園記録が自動化	されたり、療育活 より情報の共有化	動の記録を保護される。関係	皆に配信するだけ'	. 確認や閲覧が常時できる環境とではなく、データの蓄積によりこデータ連携することで職員間の効		
事業開始時の状況・これまでの経 存者と職員間のコミュニケーションの円滑化と保護者の利便性を向上させ、職員の業務の効率化により療育環境の充実を図っている。 経験者と、関係者と職員間のコミュニケーションの円滑化と保護者の利便性を向上させ、職員の業務の効率化により療育環境の充実を図っている。														

#### 【DO】 実績

				第1次実施	3 力年計画		第2次実施3カ年計画					第 7 期				
			第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国 費	計画額	(0年度)	(4年度)	(0年度)	0	350, 000		(0千度)	350, 000	(3年度)	(10年度)	(日午及)	(12千度)	0	350, 000
		予算計上額				0	144, 000			144, 000					0	144, 000
		実績額				0	138, 340			138, 340					0	138, 340
	道費					0	,			0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地 方 債	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
投		実 績 額				0				0					0	0
	その他	R1 11 1100				0	206, 000	,	209, 000	624, 000	209, 000	209, 000	209, 000	209, 000	836, 000	1, 460, 000
入		予算計上額				0	412, 000	200,000		701, 000					0	701, 000
± ≥		実 績 額				0	313, 946			313, 946					0	313, 946
	一般財源					0	144, 000	,	187, 000		187, 000	187, 000	187, 000	187, 000	748, 000	1, 266, 000
れ		予算計上額				0	144, 000	101,000		251, 000					0	251, 000
+-		実 績 額				0	219, 704			219, 704					0	219, 704
15	事業費合計		0	0	0	0	700, 000		396, 000	1, 492, 000	396, 000	396, 000	396, 000	396, 000	1, 584, 000	3, 076, 000
事		予算計上額	0	0	0	0	700, 000	,	0	1, 096, 000	0	0	0	0	0	1, 096, 000
		実績額	0	0	0	0	671, 990	-	0	671, 990	0	0	0	0	0	671, 990
業							使用料396千円	使用料396千円								
費							備品購入費285 千円									
の							※国費予算144									
"	事業費予算の 内容						千円は総務費国									
推	内谷						庫補助金に充当									
移																
13																
	* + + = = # l															
	前年度予算と の比較 (増減理由)															
	実績との比較						委託料、備品購入費の執行残									
	(増減理由)						3月補正△28千 円									
						•									· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	

Ħ	指標の推移・評価																		
			没」をもとに設定)			レステム利用率			Rめ方:サービスを利用する保護者のうち、ICTシステムを利用するために申請された割合 (パーセント) Rめ方:ICTシステムを利用した保護者のアンケートによる5段階評価満足度の平均値 (ポイント)										
成	.果指標	1 (「成!	果」をもとに設定)	指標名	: ICTシ	レステム利用満足り		指標の求め方:	ICTシステムを			55段階評価満足	度の平均値(ポイ						
	-			<b>等</b> 1	第 1 次実施 3 力年計画 第 1 年次 第 2 年次 第 3 年次			中性の土在	第4年次	第2次実施第5年次	第6年次	中性の土在	第7年次	第3次実施4力年		第10年次	中长人士	第 7 期総合計画	
					年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年合計	6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次(9年度)	第 8 年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	合 計	
		活動指	/- ·						90	. L	90		90	90		90			
	指標	(単位 成果指	JC132		$\longrightarrow$	<b></b>	<del> </del>		100 2.8	3. 3	4. 0		4.0	4. 0	4. 0	4. 0			
			エ/ポイント) 実績				<u> </u>		3. 4										
			)達成度 指標をもとに評価	fi)															
		事業の	)成果																
			指標をもとに評値 )効率性	<u>fi)</u>															
			費に対する成果)																
		総合評	F価	47.74		4205	43.V.E	Stat Mer. TER -	43.V£	47.VE	47.VE	Stat Net TER -	42.VE	42.VE	43.VE	42 V K	stat Net TD -L		
				自己分析	π:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析: サービス利用保	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:		
									護者のうち I C T システムの利										
									用を申請した割 合は100%で										
									(申請数 84 件)、保護者全					'					
Ŧ	事								員がシステムを利用している。										
	評価								保護者のアン										
7	務内容								ケートによる満 足度の平均値は		1								
			総合評価の判理由または指	断標					3. 4ポイント で、計画値を上										
1	事		の実績値に関る自己分析	す					回っている。										
	業																		
Ī	評																		
1	価																		
		今後の	<del>_</del> )方向性																
				R5 :					R8 :			11	R10 :						
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)																		